

KENWOOD

デュアルサイズマルチAVレシーバー

DPV900

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



安全上のご注意	4
使用上の注意	8

12 初めて触れるDPV900

映像を切り替える	14
テレビ画面に切り替える	15
チャンネルを切り替える	15
モニターコントロール	16
スクリーンコントロール	19

20 SOURCE SELECT

22 TUNER MODE

メインシート	24
チューニング	24
バンド切り替え	24
時計表示切り替え	24
ディスプレイメニュー	24
コントロール画面	25
オート/マニュアルシーク切り替え	25
モノラル/ステレオ切り替え	25
チューナーメモリー	25
オートメモリー	25
メモリー呼び出し	25
リスト画面	26
リスト呼び出し	26
FMバンド切り替え	26
AMバンド切り替え	26

28 TAPE MODE

メインシート	30
DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)	30
リバーズプレイ	30
巻き戻し/早送り	30
時計表示切り替え	30
ディスプレイメニュー	30
コントロール画面	31
ドルビーB NR	31
メタルテープセクター	31
リピートプレイ	31
スキャンプレイ	31
ブランクスキップ	31

32 CD MODE

メインシート	34
トラックサーチ	34
プレイ/ポーズ	34
タイム表示切り替え	34
ディスプレイメニュー	34
コントロール画面	35
リピートプレイ	35
スキャンプレイ	35
ランダムプレイ	35
カレンダー画面	35
ダイレクトトラックサーチ	35

36 DISC-CH MODE

メインシート	38
トラックサーチ	38
プレイ/ポーズ	38
ディスクサーチ	38
タイム表示切り替え	38
表示切り替え	38
スクロール表示	38
タイム表示切り替え	38
ディスプレイメニュー	39
コントロール画面	39
リピートプレイ	39
スキャンプレイ	39
ランダムプレイ	39
リスト画面	40
リスト呼び出し	40
バンド切り替え	40
ディスクリスト送り	40
表示切り替え	40
カレンダー画面	40
ダイレクトトラックサーチ	40

42 TV MODE

メインシート	44
チューニング	44
バンド切り替え	44
時計表示切り替え	44
ディスプレイメニュー	44
コントロール画面	45
オートマニュアルシーク切り替え	45
メイン/サブ音声切り替え	45
チャンネルメモリー	45
オートメモリー	45
メモリー呼び出し	45

リスト画面	46
リスト呼び出し	46
バンド切り替え	46

48 ネーム入力画面

50 FUNCTION MENU

DSPコントロール画面	52
オーディオコントロール画面	53
バス (低音) / トレブル (高音) 調整	53
バランス (左右のバランス) / フェダー (前後のバランス) 調整	53
ラウドネス	53
セットアップ画面	54
テレビダイバシティ切り替え	54
FMダイバシティ切り替え	54
操作音ON/OFF	54
FMマルチスタンバイ	54
クロック調整画面	55
時計調整	55
バックグラウンドビジュアル1/2画面	55
BGV画面切り替え	55

56 INFORMATION MENU

トラフィックインフォメーション画面	57
交通情報	57
FMマルチメニュー画面	61
オート/マニュアルサーチ切り替え	61
メモリー呼び出し	61
FMバンド切り替え	61
チューナーメモリー	61
メモリー呼び出し	61

一般情報レベル1画面	62
FM多重情報レベル1受信	62
一般情報レベル2画面	62
FM多重情報レベル2受信	62
VICSレベル1画面	63
VICSレベル1受信	63
VICSレベル2画面	63
VICSレベル2受信	63
メモリーコール画面	64
メモリー呼び出し	64
FMマルチメッセージ一覧	64

65 画面消去

66 REMOTE CONTROL

ALL MODE	66
TUNER MODE	66
TAPE MODE	67
CD MODE	67
DISC-CH MODE	68
TV MODE	68
FM MULTI (FM文字多重情報)	69
取り付けかた	70
接続のしかた	72
故障かな!?と思ったら	74
保証とアフターサービス	77
定 格	78

本取扱説明書の見方

●操作の内容



チューニング - 放送局を探す -

- 周波数が低くなります。
- 周波数が高くなります。



タッチしてすぐ離します。



1秒または2秒以上押し続けます。

●タッチする画面上のキー



本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。画面キーや文字形状は実際の画面とは異なる場合があります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



ⓘ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

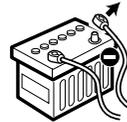
警告



カーオーディオ/ビジュアル製品はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



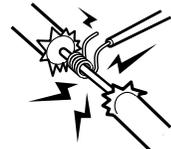
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



カーオーディオ/ビジュアル製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



カーオーディオ/ビジュアル製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



モニターディスプレイの開閉中には手や指を近づけないでください。挟まれてけがをすることがあります。



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



カーオーディオ/ビジュアル製品取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



警告



アースコードをステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆がやぶれやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



カーオーディオ/ビジュアル製品取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



カーオーディオ/ビジュアル製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。
また、以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・ テレビやビデオを見る
- ・ 地点登録、各設定、ネーム入力などのナビゲーション/カーオーディオの操作

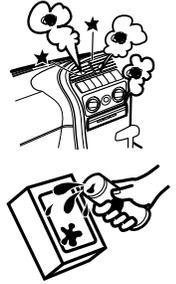


画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

警告



万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



カーオーディオ/ビジュアル製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



修理は必ず＜お買い上げの販売店＞、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

注意



カーオーディオ/ビジュアル製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店に依頼してください。



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。割れてけがをするおそれがあります。



液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。
液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。



カーオーディオ/ビジュアル製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



車載用アンテナは車の幅、長さからはみ出さない場所を選んで取り付けてください。歩行者などに接触するなど、事故の原因となることがあります。



カーオーディオ/ビジュアル製品は、車載用としての用途以外では使用しないでください。

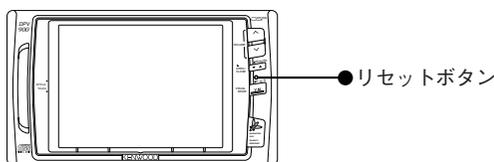
使用上の注意

本機に接続できるディスクチェンジャーについて

C705、C705i、C705sr、MD6、MD66を接続することができます。上記以外および他社製のディスクチェンジャーは、接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。ナビゲーションシステムのディスクチェンジャーとして追加する場合はC705srを接続してください。

初めて使うとき

DPV900を初めて使うときや、バッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。



モニター部の動作について

モニター部の位置調整時及びテープの出し入れ時、車によってはパーキング位置にあるシフトレバーなどにモニター部が干渉する場合があります。その場合は、安全に充分注意してシフトレバーを動かすなどして操作を行ってください。

DSP 効果を得るために

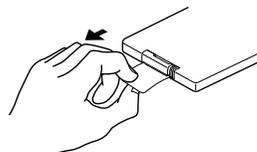
DSP効果を得るために本機は4スピーカーシステムでご使用ください。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。カードリモコンはダッシュボードなど高温になるところには置かないでください。

カードリモコンご使用のまえに

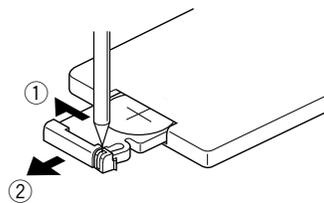
初めてお使いになるときは、バッテリーケースに差し込まれているフィルムを抜き取ってください。



●カードリモコンのリチウム電池交換について

スイッチを押しても動作しなくなったときは電池が消耗していることが考えられます。新しい電池と交換してください。

リモコンはリチウム電池（CR2025）を1個使用します。電池の+ -はケースの表示にしたがって正しく入れてください。



セットのお手入れ

画面が汚れたときには、付属のクリーニングクロスややわらかい布でから拭きしてください。固い布や、シンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、キズがついたり、文字が消える場合があります。

安全運転のために

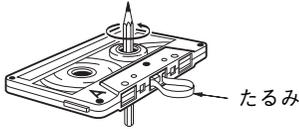
走行中や、駐停車中であってもパーキングブレーキが引かれていないとテレビ/ビデオやネーム入力の画面は映りません。

セットの異常にお気付きのときは

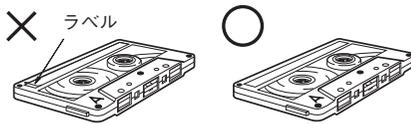
万一、セットの異常にお気付きのときは、リセットボタンを押してください。リセットしますとK-BUSで接続されているすべてのユニットがリセットされます。リセットすると各種設定したメモリーなどは消去される場合があります。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンターや営業所へご連絡ください。

テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

低温時の画面について

本体の温度が下がっているときは電源をオンにしたときに液晶パネルの性質上、通常より画面が暗くなる場合があります。電源をオンして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。

タッチ操作について

直射日光がモニター部に当たった状態でタッチ操作を行うと誤動作することがあります。

ディスクの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは、**記録面に触れないようにします**。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。記録面はもちろんのこと、ラベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。ナビゲーション用地図ディスクはミュージックCDよりもキズなどの影響を受けやすくキズなどを付けると使用できなくなる場合があります。



ディスクの保存

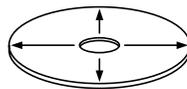
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、**温度が高い場所には置かないでください**。

長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、**ケースに入れて保管してください**。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

ディスクのお手入れ

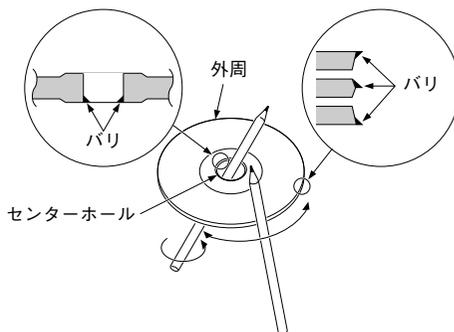
ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、**中心から外側に向かって軽くふきとってください**。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は**絶対に使用しないでください**。



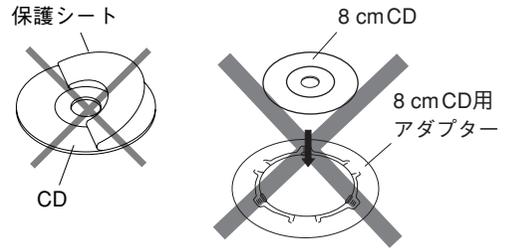
新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に**"バリ"**がないことを確認してください。**"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音とびの原因になります**。**"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください**。



ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シートなど）は故障の原因となりますので利用しないでください。また、市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。故障となる場合があります。



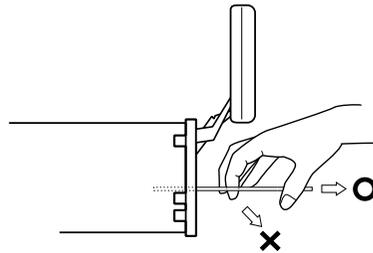
このようなディスクは使えません

記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

ディスクの取り出しかた

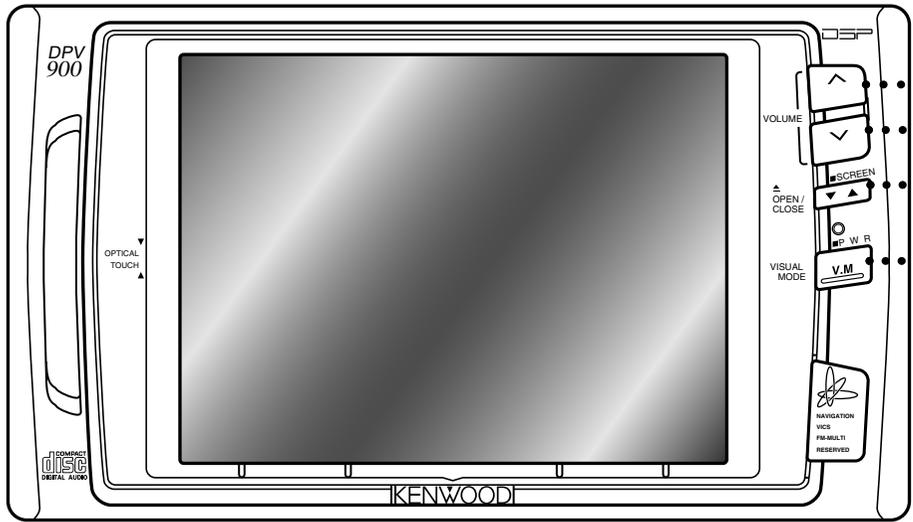
本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

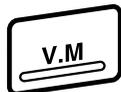
下側に強く押ししながら引き出すとディスク記録面に傷をつける原因となります。



初めて触れる

DPV 900





POWER ON

電源をONにする

押すと電源がONになります。

押すごとに以下のように画面が切り替わります。

オーディオ画面 ▶ ソースメニュー

テレビ・ビデオ映像画面

ナビゲーション画面

- メモ**
- オーディオ画面はすべての画面の描写が終了するまでボリューム調整以外の操作はお待ちください。
 - ナビゲーションシステム“NV900”、“GPR-77”が接続されているときは同時に電源がONします。



POWER OFF

電源をOFFにする

1秒以上押すと電源がOFFになります。

- メモ** ナビゲーションシステム“NV900”、“GPR-77”が接続されているときは同時に電源がOFFします。



VOLUME

ボリューム調整

↑ ボタンを押すと音量が大きくなります。

↓ ボタンを押すと音量が小さくなります。

調整すごとに画面下にボリューム値を表示します。



MONITOR

モニターコントロール

電源ON中に ボタンを押すとモニターコントロール画面に切り替わります。

- メモ** スクリーンコントロール画面中は切り替わりません。



SCREEN

スクリーンコントロール

電源ON中に ボタンを1秒以上押すとスクリーンコントロール画面に切り替わります。

- メモ** モニターコントロール画面中は切り替わりません。

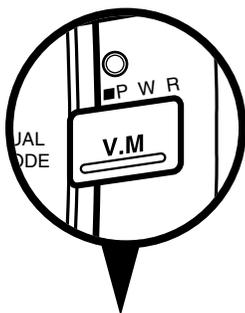
- メモ**
- 電源OFF中に ボタンを押すとカセットテープをイジェクトします。
 - 電源OFF中に ボタンを1秒以上押すとディスクをイジェクトします。



モニターのアングル調整がされているときはカセットテープをイジェクトすることはできません。モニターを手でセンターの位置に戻してから操作してください。

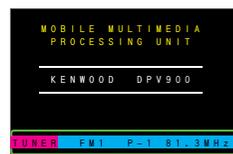
映像を切り替える

 ボタンを押すごとに以下の
ように画面が切り替わります。



- メモ**
- ナビゲーションシステムが接続されていないとき、ナビゲーションシステムの電源がOFFのときは「NAVIGATION OFF」と表示されます。
 - オーディオ画面はオープニング画面から始まります。その後自動的に前にパワーOFFしたときのモード画面を表示します。

注意 走行中はTV・ビデオ画面を見ることはできません。パーキングブレーキを引いてTV・ビデオ画面を見ている場合でもパーキングブレーキが解除されるとTV・ビデオ画面は「ATTENTION!」と表示され、自動的に映像は映らなくなります。

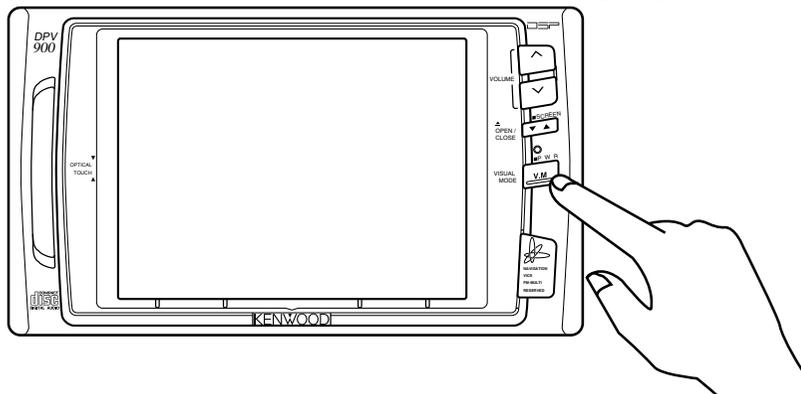


ATTENTION!

YOU CANNOT USE
THIS FUNCTION
WHILE DRIVING.

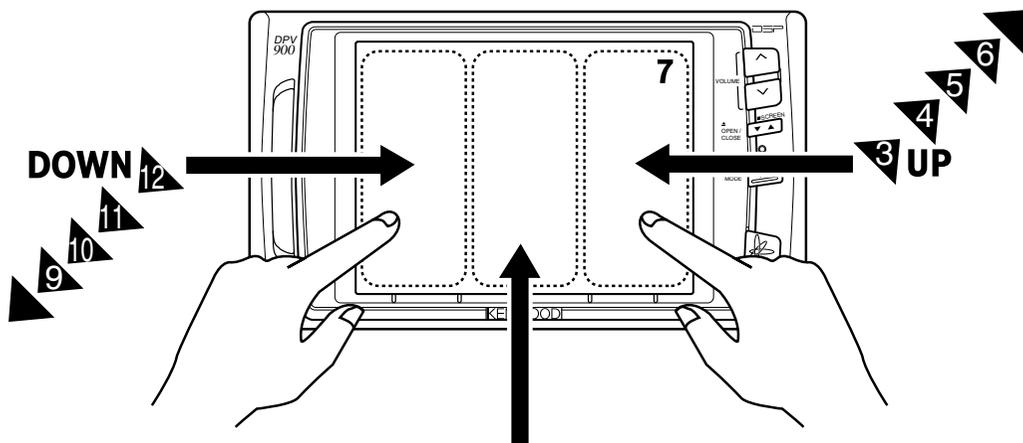
テレビ画面に切り替える

 ボタンを押してテレビ映像に切り替えます。



メモ ビデオ映像になるときはTV MODE（44ページ）でTVを選択してください。

チャンネルを切り替える



TV画面の左側寄りをタッチするとチャンネルがダウンします。

- チューニング方法がオートシークのときは自動的に放送局を探します。
- チューニング方法がマニュアルシークのときは1チャンネルずつ下がります。

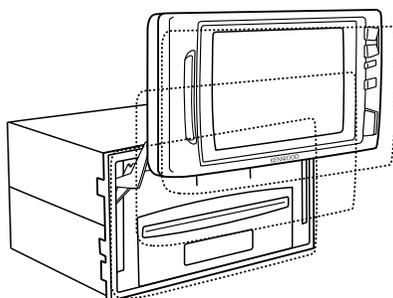
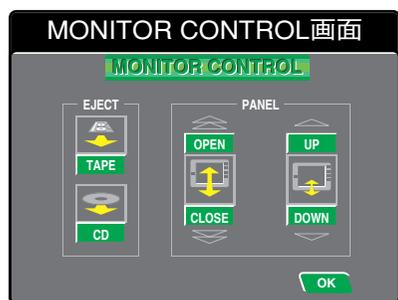
TV画面の右側寄りをタッチするとチャンネルがアップします。

- チューニング方法がオートシークのときは自動的に放送局を探します。
- チューニング方法がマニュアルシークのときは1チャンネルずつ上がります。

また、画面の中央にタッチすると画面下にオーディオソース状況を重ねて表示します。パーキングオフ中は画面のどこをタッチしてもオーディオソース状況を重ねて表示します。

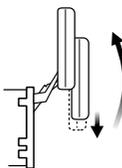
- メモ**
- チューニング方法についてはTV MODE（45ページ）のコントロール画面で設定できます。
 - パーキングオフ中はチャンネルアップ/ダウンの操作はできません。

モニターコントロール

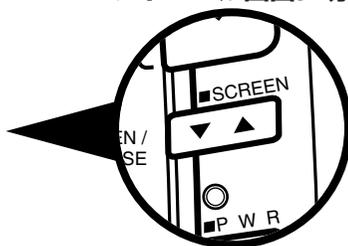


注意

モニター部をリフトアップ/ダウンさせると、一度選択した方向とは逆に動作してから、リフトアップ/ダウンする場合があります。



電源ON中に ボタンを押すとモニターコントロール画面に切り替わります。



モニターをコントロールする

- OPEN モニターが最上部までリフトアップします。
- CLOSE モニターが最下部までリフトダウンします。
- UP モニターが1段階ずつリフトアップします。
- DOWN モニターが1段階ずつリフトダウンします。

メモ モニターのリフトアップ/ダウンは3段階の範囲で調整できます。

- モニター動作中、可動部分に手や指などを近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。
- モニター部に強い衝撃を与えないでください。ロック機構が外れてモニターが下がったり、パネルが倒れるなど破損・故障の原因となります。

モニターのアングル調整をする

リフトアップさせたモニターは手動で±18°の角度範囲で調整ができます。

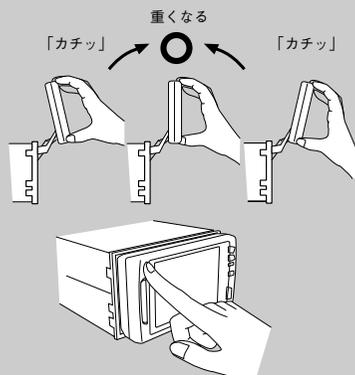
- 注意 角度を調整したときは、モニターを最下部までリフトダウンさせることはできなくなります。リフトダウンさせるときはモニター角度を本体とセンターの位置に戻してから行ってください。

注意 モニターコントロールできない状態のときは画面下に以下のメッセージでお知らせします。

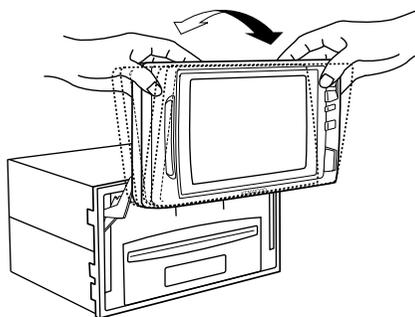
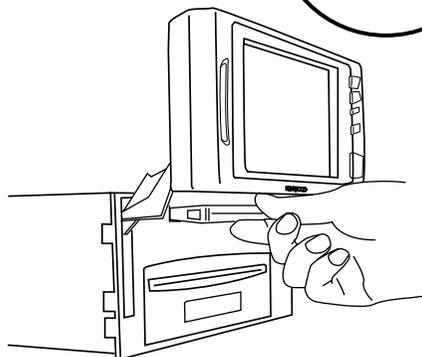
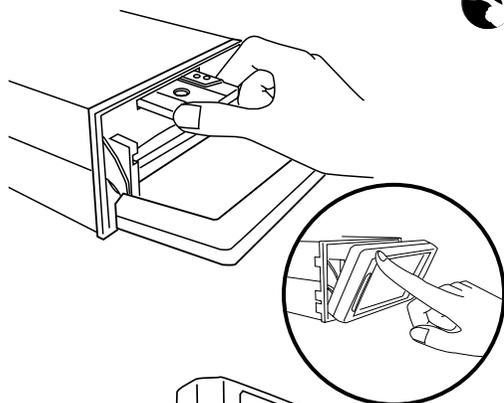
「ANGLE CHECK」.....手動で角度調整されているためにモニターを最下部まで降ろすことができません。
→モニターを手で動かし、センターの位置で一旦ロックされるとモニターを最下部まで降ろすことができます。

「FLIP DOWN CHECK」.....モニターが完全に閉まっていないときはテープを取り出すことができません。
→手で確実にモニターを閉めてください。

「TAPE/DISC CHECK」.....テープまたはディスクが挿入口にあるためリフトダウンさせることができません。
→再度挿入し直すか、または取り出してから操作を行ってください。



カセットテープの挿入/イジェクト



カセットテープを挿入/イジェクトする

TAPE

●モニターが最下部の位置にあるとき

タッチするとモニターがフリップダウンし、テープが挿入できるようになります。テープが入っているときはイジェクトされます。

挿入/イジェクト後は、モニターを手で閉めてください。



フリップダウンしない場合、16ページ下の「FLIP DOWN CHECK」を参照してください。

●モニターが最上部の位置にあるとき

そのままの状態ですべてが挿入/イジェクトされます。

●モニターが最下部/最上部以外の中間位置にあるとき

手動でアングル調整をしていた場合は、モニター角度をセンターの位置に戻してから操作を行ってください。



アングル調整がセンターの位置でないときはテープを挿入/イジェクトさせることはできません。左ページ下のメッセージを参照して、モニターを手でセンターの位置に戻してから操作してください。(ANGLE CHECK参照)



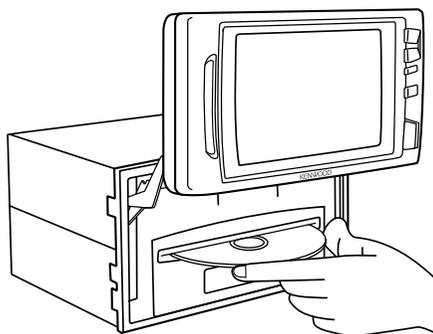
- フリップダウン状態でパネルの上に物などを置かないでください。
- フリップダウン状態のまま放置しないでください。故障の原因となります。
- モニターは確実に閉めてください。閉まっていないとリフトアップさせることができません。

モニターコントロールを終了する

OK

設定を終了し、元の画面に切り替わります。

ディスクの挿入/イジェクト



ディスクを挿入/イジェクトする

CD

● **モニターが最下部の位置にあるとき**
タッチするとモニターがリフトアップし、ディスクが挿入できるようになります。ディスクが入っているときはイジェクトされます。

メモ モニターが最上部またはその1段階下の位置にあるときはそのままの状態でもディスクを挿入/イジェクトすることができます。

注意 フリップダウン状態ではディスクを挿入/イジェクトさせることはできません。16ページ下のメッセージを参照してモニターを手で閉めてから操作してください。



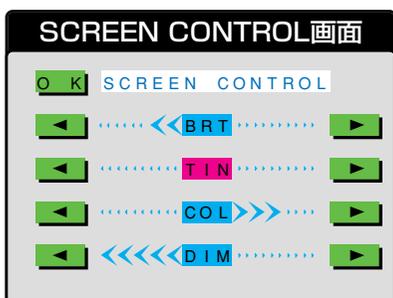
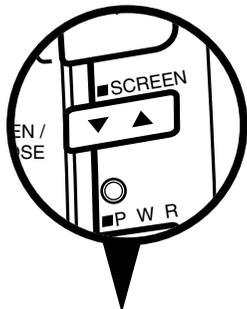
モニターコントロールを終了する

OK

設定を終了し、元の画面に切り替わります。

スクリーンコントロール

電源ON中に  ボタンを1秒以上押すとスクリーンコントロール画面に切り替わります。



明るさ **BRT** を調整する

-  画面が暗くなります。
-  画面が明るくなります。



色合い **TIN** を調整する

-  赤色が濃くなります。
-  緑色が濃くなります。



色の濃さ **COL** を調整する

-  色が薄くなり、モノクロに近い色になります。
-  色が濃くなります。



夜間時の画面の明るさ **DIM** を調整する

-  画面が暗くなります。
-  画面が明るくなります。

メモ 調整は3ステップです。



スクリーンコントロール画面を終了する **O K**

メモ ●色合い (TIN) と色の濃さ (COL) はテレビ/ビデオ画面時に調整できます。オーディオ画面、ナビゲーション画面は調整できません。

●夜間時の画面の明るさ (DIM) は、車のライトスイッチがオフのときや、イルミネーションコードが接続されていないときは調整できません。また調整は3ステップです。

●スクリーンコントロールで調整した内容は、各モード画面別にメモリーされます。

●10秒間操作を行わないと自動的にスクリーンコントロール画面を終了します。

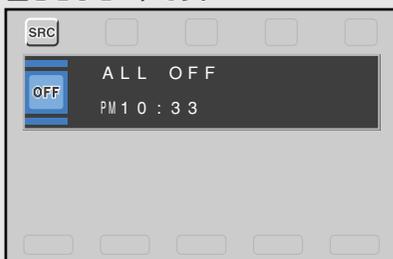
SOURCE

SELECT

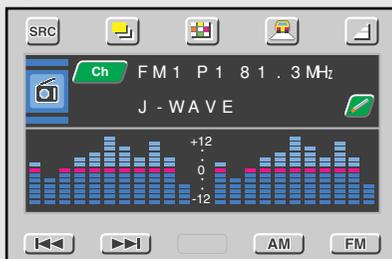
SRC

オールオフモード

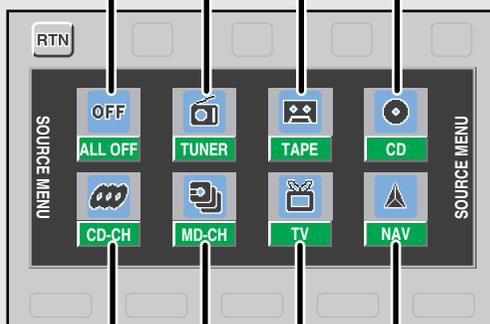
電源ONのまますべての機能を一時的に停止させるモードです。



22 チューナーモード



ソース メニュー



- メモ ●接続していないソースは表示されません。
- 選択しているソースは黄色で表示されます。



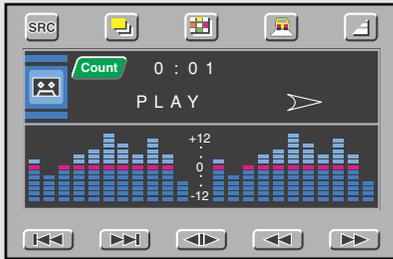
36 CDチェンジャーモード



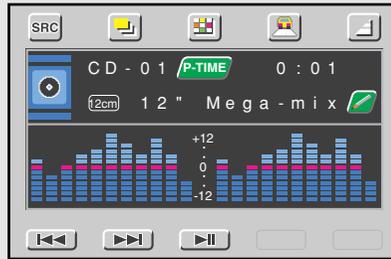
36 MDチェンジャーモード

- メモ ●CDチェンジャーを2台接続したときはCD CH1とCD CH2と表示され、色で区別できるようになります。
- MDチェンジャーを2台接続したときはMD CH1とMD CH2と表示され、色で区別できるようになります。

②⑧ テープモード

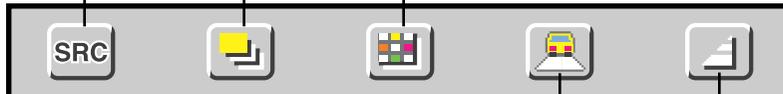


③② CDモード



各モードの共通ボタンについて

- ソースメニューへ戻ります。
- ディスプレイメニューを表示します。
- ファンクションメニューを表示します。



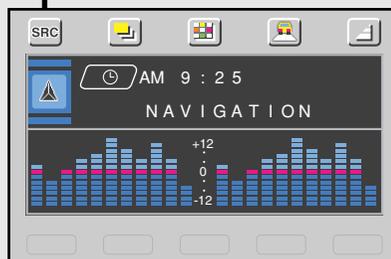
- インフォメーション画面を表示します。
- 画面を消去します。

④② テレビモード



ナビゲーションモード

ナビゲーションシステム“NV900”を接続しているときにVIDEO CD再生、IIS音声発生時のみ表示できるようになります。





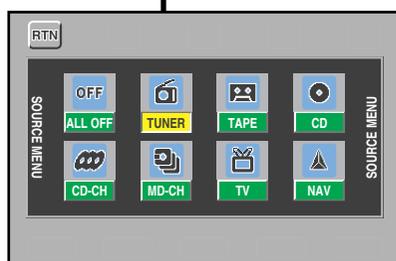
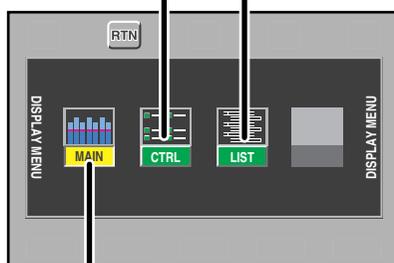
25 コントロール画面



26 リスト画面



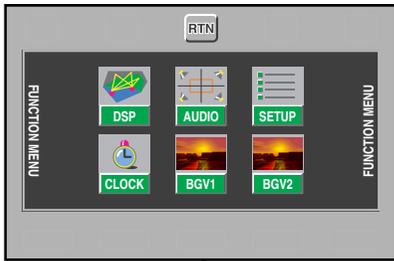
24 ディスプレイメニュー



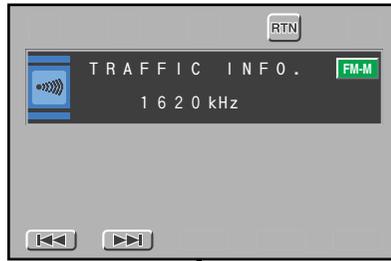
20 ソースメニュー



50 ファンクションメニュー



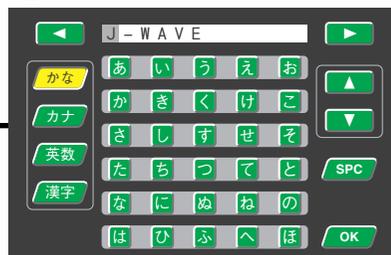
56 インフォメーション画面



65 画面消去

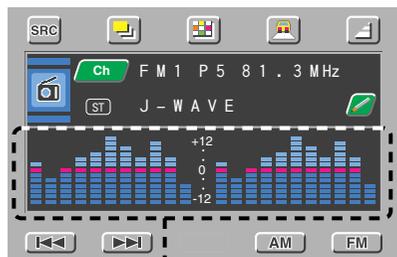


48 ネーム入力画面



メモ 運転中（パーキングブレーキOFF時）はネーム入力画面に切り替わりません。このため、メインシート、コントロール画面、リスト画面の  は表示されません。

メインシート



メモ スペアナ部分にタッチすること合計5つのスピーカパターンに切り替わります。



チューニング - 放送局を探す -



- 周波数が低くなります。
- 周波数が高くなります。

メモ ●コントロール画面（25ページ）のオート/マニュアルシーク切替で設定したチューニング方法で放送局を探します。
●ステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。



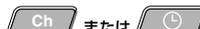
バンド切り替え - 聴きたいバンドを選ぶ -



- AM タッチすることAM1とAM2を切り替えます。
- FM タッチすることFM1とFM2を切り替えます。



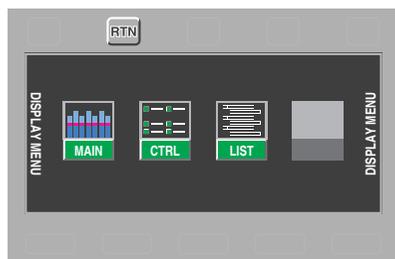
時計表示切り替え - 時計表示にする -



タッチすること周波数表示と時計表示が切り替わります。

メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。

ディスプレイメニュー



メインシートに切り替わります。



コントロール画面に切り替わります。



リスト画面に切り替わります。



ディスプレイメニューに切り替える前の画面に切り替わります。



メモ ディスプレイメニューに切り替える前の画面がメイン、コントロール、リスト画面の場合、ディスプレイメニューでは黄色で表示されています。同じ画面を選ぶときは にタッチしてください。

コントロール画面



オート/マニュアルシーク切り替え

チューニング方法をオートシークとマニュアルシークに切り替えます。

オートシーク選択時

周波数の低い方、高い方へ自動的に放送局を探して受信します。

マニュアルシーク選択時

周波数が低い方、高い方へ1ステップずつ変わります。押し続けると連続して変わります。

モノラル/ステレオ切り替え —雑音を軽減する—

タッチすることによりFM放送の音声モノラルとステレオに切り替わります。音声をステレオに設定中はステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

チューナーメモリー —放送局をメモリーする—

放送局を受信中に ボタンのいずれかを2秒以上タッチするとタッチしたボタンに今聴いている放送局がメモリーされます。各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。

オートメモリー —放送局を自動でメモリーする—

タッチするとオートメモリースタンバイがON/OFFします。ON中は“AME STBY”と表示されます。

オートメモリースタンバイ中にタッチすると

“AUTO MEMORY”と表示され、オートメモリーが始まります。現在受信可能な放送局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。

メモ オートメモリースタンバイ中、10秒間操作を行わないと解除されます。



メモリー呼び出し

—メモリーした放送局を受信する—

1～**6** ボタンのいずれかをタッチすると、チューナーメモリー、オートメモリーでメモリーされた放送局を受信します。

リスト画面

LIST



リスト呼び出し

-リスト画面から放送局を呼び出す-

1 6



1~6 ボタンのいずれかをタッチすると、表示されている放送局を受信します。

FMバンド切り替え

FM1 または FM2



タッチすることによりFMバンドFM1とFM2のリスト表示に切り替わります。切り替えたバンドが表示されます。

AMバンド切り替え

AM1 または AM2



タッチすることによりAMバンドAM1とAM2のリスト表示に切り替わります。切り替えたバンドが表示されます。

- メモ**
- ネーム入力 (→48ページ) されていないときリスト画面は周波数を表示します。
 - タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。
 - リスト画面からチューナーメモリーをすることはできません。



TAPE MODE

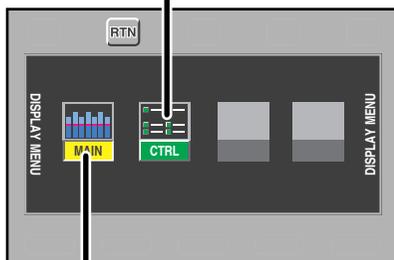


メモ テープ挿入、イジェクトはモニターコントロール（17ページ）をご覧ください。

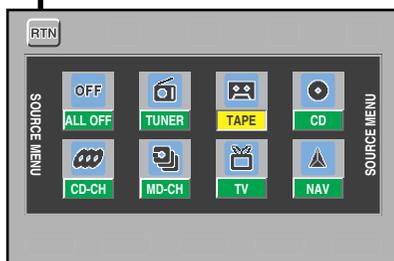
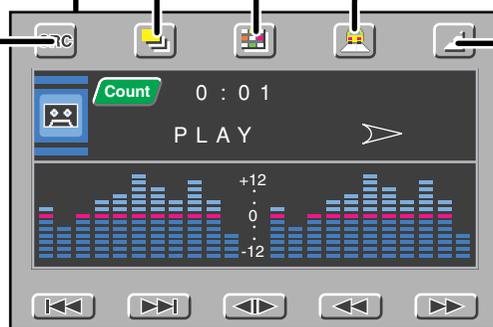
31 コントロール画面



30 ディスプレイメニュー



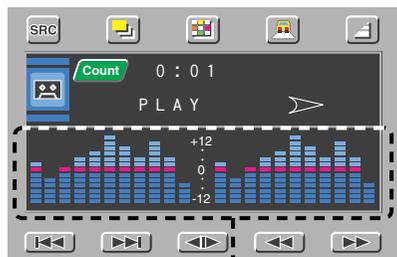
30 メインシート



20 ソースメニュー

50 ファンクションメニュー**56** インフォメーション画面**65** 画面消去

メインシート



メモ スペアナ部分にタッチすることによって合計5つのスペアナパターンに切り替わります。

DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)
 -飛び越し選曲をする-

手前の曲を頭出しする

タッチすることによって飛び越す曲数を表示して巻き戻します。指定した曲の先頭から演奏が始まります。最高9曲まで頭出しできます。

先の曲を頭出しする

タッチすることによって飛び越す曲数を表示して早送りします。指定した曲の先頭から演奏が始まります。最高9曲まで頭出しできます。

タッチするとDPSSが解除されます。

メモ DPSSは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行きます。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で非常に小さい曲が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。

リバースプレイ -テープの裏面を聴く-


テーププレイ中にタッチするとリバースプレイが始まります。テープカウンター表示は0:00になります。

巻き戻し/早送り


タッチすると巻き戻しが始まります。巻き戻し中は“REWIND”と表示されます。

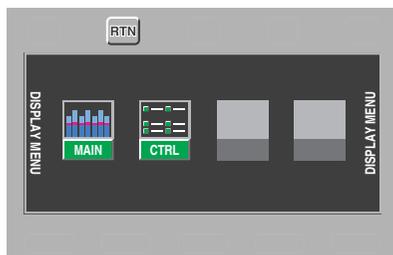
タッチすると早送りが始まります。早送り中は“F.FORWARD”と表示されます。

タッチすると巻き戻し/早送りが解除されます。

時計表示切り替え -時計表示にする-


タッチするとテープカウンター表示が時計表示に切り替わります。

ディスプレイメニュー



メインシートに戻ります。



コントロール画面に切り替わります。

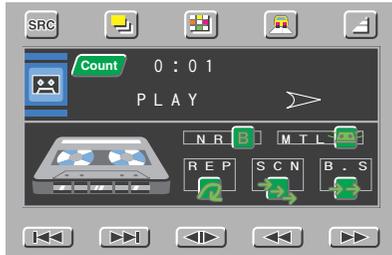


ディスプレイメニューに切り替える前の画面に切り替わります。



メモ ディ스플레이メニューに切り替える前の画面がメイン、コントロール画面の場合、ディスプレイメニューでは黄色で表示されています。同じ画面を再度選ぶときは にタッチしてください。

コントロール画面

**ドルビーB NR**

—ドルビーB NRで録音されたテープを聴く—



タッチするごとにドルビーB NRシステムがON/OFFします。ON中は黄色に変わります。ドルビーB NRシステムで録音されたテープを聴くときはONにします。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

メタルテープセレクト

—メタル/クロームテープを聴く—



タッチするごとにテープセレクトがメタル (TYPE IV) /クローム (TYPE II) とノーマル (TYPE I) に切り替わります。メタル/クロームテープを聴くときはタッチして表示を黄色に切り替えてください。

リピートプレイ —同じ曲を繰り返し聴く—

タッチするごとにリピートプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、テープカウンター表示または時計表示の右側にREPインジケータが点灯します。現在聴いている曲を繰り返し演奏します。

スキャンプレイ —聴きたい曲を探す—

タッチするごとにスキャンプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、テープカウンター表示または時計表示の右側にSCNインジケータが点灯します。曲の先頭部分を約10秒間演奏すると、次の曲の先頭までサーチして各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

メモ リピート、インデックススキャンは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行います。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で非常に小さい曲が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。

ブランクスキップ

—無録音部分をスキップする—



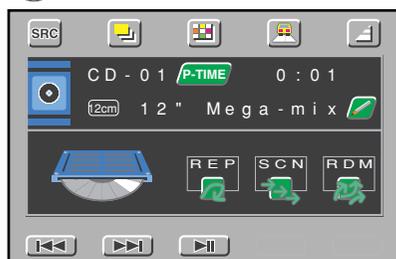
タッチするごとにブランクスキップがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、テープカウンター表示または時計表示の右側にB.Sインジケータが点灯します。10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲まで早送りされます。

メモ

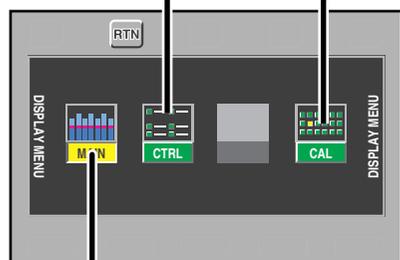
- 初期設定はブランクスキップ機能はONになっています。
- 無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをOFFにしてください。

メモ CDの挿入、イジェクトはモニターコントロール（18ページ）をご覧ください。

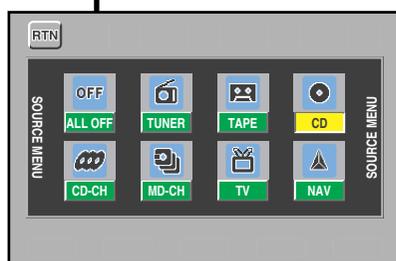
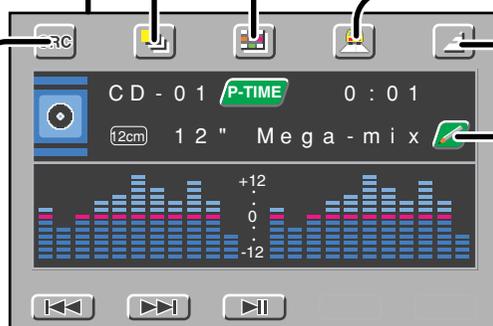
35 コントロール画面



35 カレンダー画面



34 ディスプレイメニュー



20 ソースメニュー

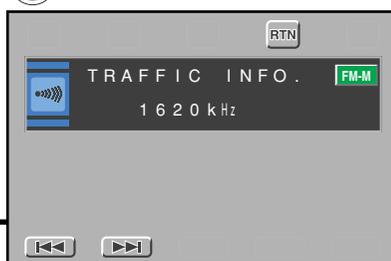


メモ CD演奏中はCDサイズをディスクネームの左側にインジケーターでお知らせします。

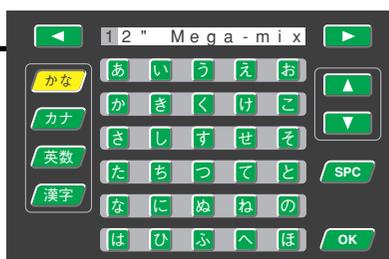
50 ファンクションメニュー



56 インフォメーション画面



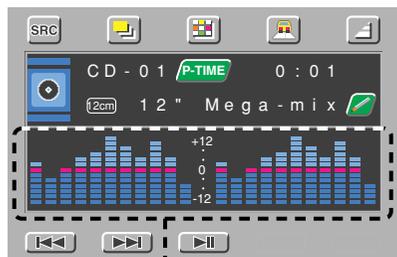
65 画面消去



48 ネーム入力画面

- メモ** 運転中（パーキングブレーキOFF時）はネーム入力画面に切り替わりません。このため、メインシート、コントロール画面、カレンダー画面の  は表示されません。

メインシート



メモ スペアナ部分にタッチすることにより合計5つのスペアナパターンに切り替わります。

メモ 演奏中のCDのサイズをディスクネーム左側にインジケータでお知らせします。

メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。



トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

手前の曲を頭出しする

タッチすることにより手前の曲をトラックサーチします。タッチし続けると聴いている曲を早戻しします。

先の曲を頭出しする

タッチすることにより先の曲をトラックサーチします。タッチし続けると聴いている曲を早送りします。



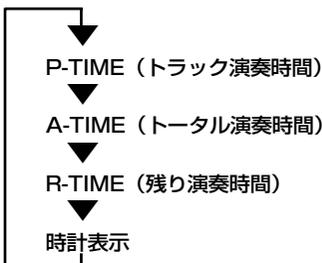
プレイ/ポーズ - 演奏を一時停止する -

CDプレイ中にタッチすると演奏が一時停止状態になります。ポーズ中は黄色に変わります。再度タッチすると演奏が始まります。

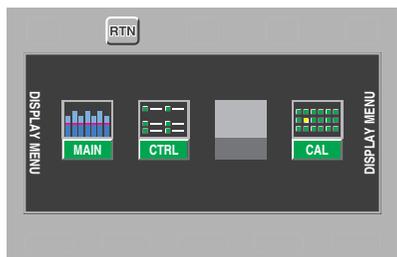


タイム表示切り替え - 演奏時間表示・時計表示にする -

タッチするとタイム表示が以下のように切り替わります。



ディスプレイメニュー



メインシートに戻ります。



コントロール画面に切り替わります。



カレンダー画面に切り替わります。



ディスプレイメニューに切り替える前の画面に切り替わります。

メモ ディスプレイメニューに切り替える前の画面がメイン、コントロール、カレンダー画面の場合、ディスプレイメニューでは黄色で表示されています。同じ画面を再度選ぶときは にタッチしてください。

コントロール画面



リピートプレイ -同じ曲を繰り返し聴く-



タッチするごとにリピートプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にREPインジケータが点灯します。現在聴いている曲を繰り返し演奏します。



スキャンプレイ -聴きたい曲を探す-



タッチするごとにスキャンプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にSCNインジケータが点灯します。曲の先頭部分を10秒間演奏すると、次の曲の先頭までサーチして各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。



ランダムプレイ

-聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する-



タッチするごとにランダムプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にRDMインジケータが点灯します。自動的に次の曲を選んで演奏します。

タッチすると次の曲を自動的に選んで演奏します。

メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。

カレンダー画面



ダイレクトトラックサーチ

-画面から聴きたい曲を選ぶ-



タッチしたNo.が黄色に変わり、曲が演奏されます。



聴きたいトラックNo.が表示されていないときは、タッチするごとにカレンダー表示のトラックNo.がページ送り/戻されます。

メモ

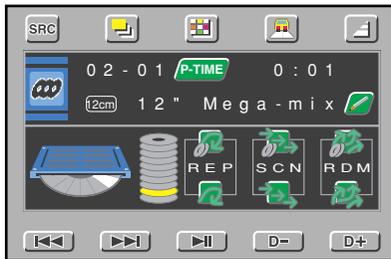
- / は表示できるトラックNo.がある場合に表示されます。
- ランダム、スキャンプレイ中はダイレクトトラックサーチはできません。
- タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。

DISC-CH MODE

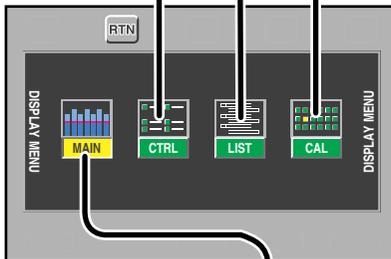


メモ モードの展開で説明している画面はCDチェンジャーの場合です。MDチェンジャーの画面とは若干異なる部分があります。

39 コントロール画面

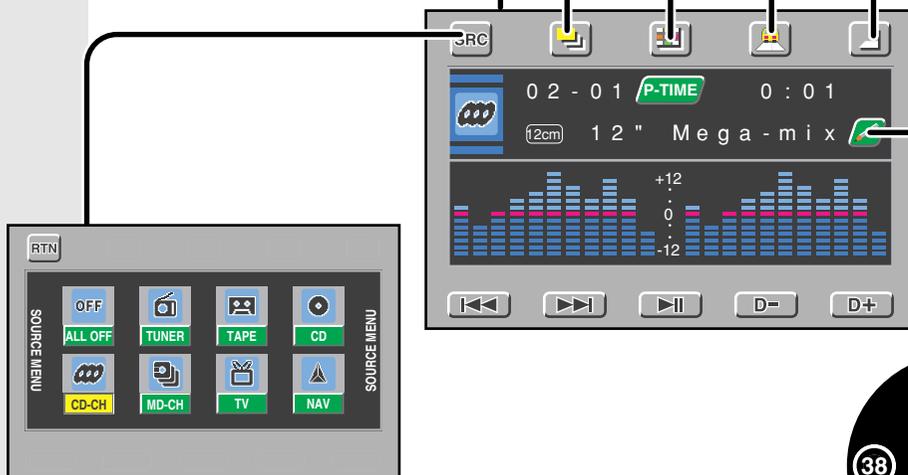


40 リスト画面

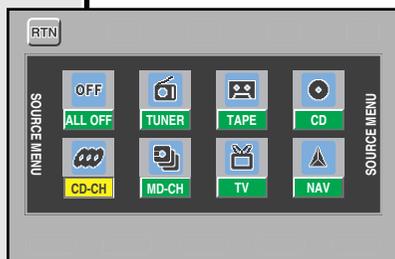


39 ディスプレイメニュー

50 ファンクションメニュー



20 ソースメニュー



38
メイン
シート

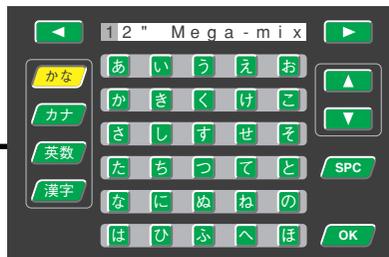
④⑩ カレンダー画面



⑤⑥ インフォメーション画面



⑥⑤ 画面消去



④⑧ ネーム入力画面

メモ 運転中（パーキングブレーキOFF時）はネーム入力画面に切り替わりません。このため、メインシート、コントロール画面、リスト画面、カレンダー画面の  は表示されません。

メインシート



メモ スペアナ部分にタッチすることによって合計5つのスペアナパターンに切り替わります。

メモ 演奏中のCDのサイズをディスクネーム左側にインジケータでお知らせします。

メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。

■MDチェンジャーメインシートの場合 (これ以外の操作はCDチェンジャーと同様に操作してください)



トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -



手前の曲を頭出しする

タッチすることによって手前の曲をトラックサーチします。タッチし続けると聴いている曲を早戻しします。

先の曲を頭出しする

タッチすることによって先の曲をトラックサーチします。タッチし続けると聴いている曲を早送りします。



プレイ/ポーズ - 演奏を一時停止する -



チェンジャープレイ中にタッチすると演奏が一時停止状態になります。ポーズ中は黄色に変わります。再度タッチすると演奏が始まります。



ディスクサーチ - 聴きたいディスクを選ぶ -



先のディスクを演奏する

タッチすることによって先のディスクをサーチします。

手前のディスクを演奏する

タッチすることによって手前のディスクをサーチします。



タイム表示切り替え - 演奏時間表示・時計表示にする -



タッチすることによってタイム表示が以下のように切り替わります。

▶ P-TIME ▶ A-TIME ▶ R-TIME ▶ 時計表示
 (トラック (トータル (残り演奏
 演奏時間) 演奏時間) 時間)

メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。



表示切り替え



タッチすることによって表示が以下のように切り替わります。

▶ DNPS ▶ D-Title ▶ T-Title
 (ディスク (ディスク (トラック
 ネーム) タイトル) タイトル)



スクロール表示



MDのディスク/トラックタイトル表示のときにタッチすると、文字をスクロール表示します(最大128文字まで)。なお、カナ文字は正常に表示されない場合があります。



タイム表示切り替え - 演奏時間表示・時計表示にする -

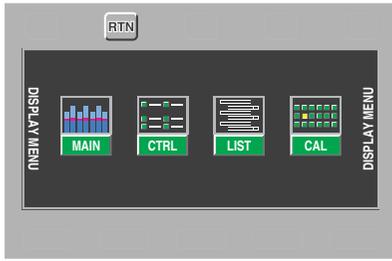


タッチすることによってP-TIMEと時計表示が切り替わります。

▶ P-TIME ▶ 時計表示

メモ DNPS (ディスクネーム) 表示のときは にタッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。

ディスプレイメニュー



メモ ディスプレイメニューに切り替える前の画面がメイン、コントロール、リスト、カレンダー画面の場合、ディスプレイメニューでは黄色で表示されています。同じ画面を再度選ぶときは にタッチしてください。



メインシートに戻ります。



コントロール画面に切り替わります。



リスト画面に切り替わります。



カレンダー画面に切り替わります。



ディスプレイメニューに切り替える前の画面に切り替わります。



コントロール画面



CDチェンジャーコントロール画面



MDチェンジャーコントロール画面



リピートプレイ -同じ曲・ディスクを繰り返し聴く-



ディスクリピート

タッチすることによりディスクリピートプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にREPインジケータが点灯します。現在聴いているディスクを繰り返し演奏します。



トラックリピート

タッチすることによりトラックリピートプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にREPインジケータが点灯します。現在聴いている曲を繰り返し演奏します。



スキャンプレイ -聴きたい曲・ディスクを探す-



ディスクスキャン

タッチすることによりディスクスキャンプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にSCNインジケータが点灯します。マガジンに入っている各ディスクの1曲目を10秒間ずつ演奏していきます。



トラックスキャン

タッチすることによりトラックスキャンプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にSCNインジケータが点灯します。曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏していきます。



ランダムプレイ

-聴いているディスク・マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する-



マガジンランダム

タッチすることによりマガジンランダムプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にRDMインジケータが点灯します。自動的に次の曲を選んで演奏します。



トラックランダム

タッチすることによりトラックランダムプレイがON/OFFします。ON中は黄色に変わり、タイム表示右側にRDMインジケータが点灯します。自動的に次の曲を選んで演奏します。

タッチすると次の曲を自動的に選んで演奏します。

メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。

リスト画面

LIST



リスト呼び出し

—リスト画面からディスクを演奏する—

1 6



①～⑥ ボタンのいずれかをタッチすると、表示されているディスクを演奏します。

- メモ**
- ネーム入力していないディスクは「NO NAME」と表示されます。
 - ディスクが入っていないときは「NO DISC」と表示されます。
 - 一度も演奏していないディスクは「NO ACCESS」と表示されます。

ディスクリスト送り

—7枚目以降のディスクを表示させる—



タッチすることリスト表示が切り替わります。

- メモ** ▲/▼ は表示させるリストがある場合に表示されます。

■MDチェンジャーリスト画面の場合



表示切り替え

DNPS または D-Title



タッチすることディスクネーム表示とMDのディスクタイトル表示に切り替わります。

- メモ** ネーム入力していないディスク、タイトルが記録されていないディスクは「NO NAME」と表示されます。

- メモ** タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。

カレンダー画面

CAL



ダイレクトトラックサーチ

—画面から聴きたい曲を選ぶ—



タッチしたNo.が黄色に変わり、曲が演奏されます。



聴きたいトラックNo.が表示されていないときは、タッチすることカレンダー表示のトラックNo.がページ送り/戻されます。

- メモ** ▲/▼ は表示できるトラックNo.がある場合に表示されます。

- メモ**
- スキャン、ランダムプレイ中はダイレクトトラックサーチできません。
 - タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。
 - ディスクチェンジ中トラックNo.は表示されません。





メモ 以下はオーディオ画面上の展開です。

テレビ映像に切り替えるときはモニター部の ボタンを押してテレビ映像を選択してください。

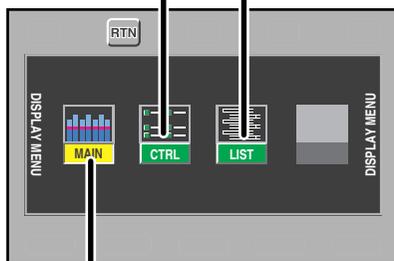
④⑤ コントロール画面



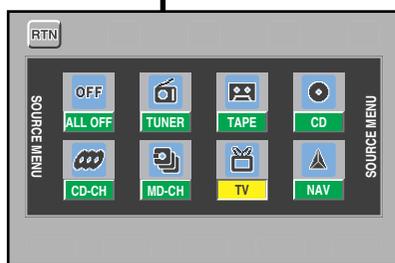
④⑥ リスト画面



④④ ディスプレイメニュー



④④ ディスプレイメニュー



④② ソースメニュー

④④
メイン
シート

50 ファンクションメニュー



56 インフォメーション画面



65 画面消去



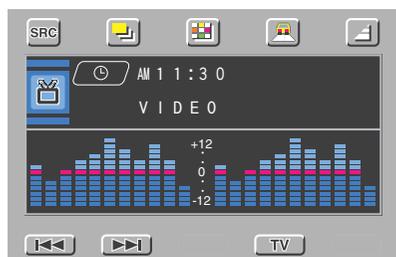
48 ネーム入力画面

メモ 運転中（パーキングブレーキOFF時）はネーム入力画面に切り替わりません。このため、メインシート、コントロール画面、リスト画面の  は表示されません。

メインシート



〈テレビのメインシート〉



〈ビデオのメインシート〉

チューニング -テレビ局を探す-

受信チャンネルが低くなります。

受信チャンネルが高くなります。

- メモ**
- コントロール画面のオート/マニュアルシーク切り替えで設定したチューニング方法でテレビ局を探します。
 - ステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

バンド切り替え -見たいバンドを選ぶ-

タッチするごとにTV1とTV2を切り替えます。

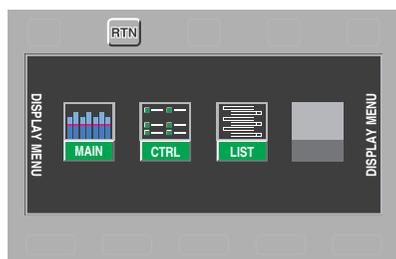
タッチするとビデオに切り替えます。

時計表示切り替え -時計表示にする- または

タッチするごとにチャンネル表示部が時計表示に切り替わります。

- メモ**
- タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページを参照してください。
 - ビデオ選択中はメインシート以外には切り替わりません。

ディスプレイメニュー



〈テレビのディスプレイメニュー〉

メインシートに戻ります。

コントロール画面に切り替わります。

リスト画面に切り替わります。

ディスプレイメニューに切り替える前の画面に切り替わります。

- メモ**
- ディスプレイメニューに切り替える前の画面がメイン、コントロール、リスト画面の場合、ディスプレイメニューでは黄色で表示されています。同じ画面を再度選ぶときは にタッチしてください。
 - ビデオのディスプレイメニューにはコントロール画面、リスト画面に切り替えることはできません。

コントロール画面



オート/マニュアルシーク切り替え

AUTO チューニング方法をオートシークとマニュアルシークに切り替えます。

◀◀ オートシーク選択時

▶▶ チャンネルの低い方、高い方へ自動的にテレビ局を探して受信します。

◀◀ マニュアルシーク選択時

▶▶ チャンネルが低い方、高い方へ1チャンネルずつ変わります。タッチし続けると連続して変わります。

メモ ステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。



メイン/サブ音声切り替え

—主音声と副音声を切り替える—

MAIN または **SUB**

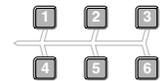
タッチすることにより音声を主音声 (MAIN) と副音声 (SUB) に切り替えます。

メモ 2ヶ国語放送でないときに副音声に切り替えても主音声を出力します。



チャンネルメモリー

—テレビ局をメモリーする—



テレビ局を受信中に **1** ~ **6** ボタンのいずれかを2秒以上タッチすると、タッチしたボタンに今聴いているテレビ局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。



オートメモリー

—テレビ局を自動でメモリーする—

AME タッチするとオートメモリースタンバイがON/OFFします。ON中は“AME STBY”と表示されます。

◀◀ オートメモリースタンバイ中にタッチすると“AUTO MEMORY”と表示され、オートメモリーが始まります。現在受信可能なテレビ局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。

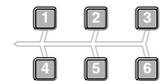
メモ オートメモリースタンバイ中、10秒間操作を行わないと解除されます。



メモリー呼び出し

—メモリーしたテレビ局を受信する—

1 ~ **6** ボタンのいずれかをタッチすると、チャンネルメモリー、オートメモリーでメモリーされたテレビ局を受信します。



メモ タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。

リスト画面



リスト呼び出し

—リスト画面からテレビ局を呼び出す—

1 6



1~6 ボタンのいずれかをタッチすると、表示されているテレビ局を受信します。

バンド切り替え

—リスト画面からバンドを選ぶ—

TV1 または TV2



タッチすることによりTV1とTV2のリスト表示を切り替えます。

メモ

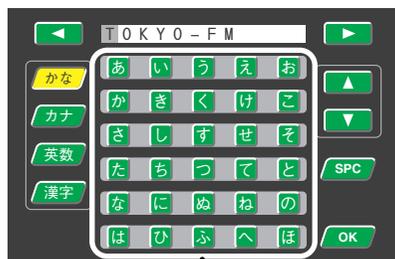
- リスト画面からチャンネルメモリーをすることはできません。
 - リスト画面はネーム入力（→48ページ）されていないときチャンネルを表示します。
- タッチするとネーム入力画面になります。ネーム入力のしかたは48ページをご覧ください。



ネーム入力画面



ネーム入力画面は安全のため運転中（パーキングブレーキOFF時）操作できないようになっています。このため各画面の は表示されませんのでご注意ください。
またネーム入力中にパーキングブレーキをOFFにすると入力したところまでの文字をメモリーし、ネーム入力画面を終了します。



文字一覧表で入力したい文字を直接タッチすると文字が入力されます。



入力する文字位置を移動できます。



入力したい文字種を選択できます。



タッチすると文字一覧表が切り替わります。



タッチするとスペースが入力できます。



タッチすると入力したところまでの文字をメモリーし、ネーム入力画面を終了します。



漢字入力のしかた



漢字一覧表で入力したい漢字を直接タッチすると漢字が入力されます。



漢字

入力したい文字位置でタッチします。漢字の読み（ひらがな）を入力する画面になります。

●文字一覧表で入力したいひらがなを直接タッチすると、その読み（音読み）で始まる漢字を表示します。



漢字入力にしてひらがなを一文字入力したあと、ひらがなの入力をやり直したいときにタッチするとキャンセルすることができます。



入力したい漢字が見つからないときにタッチすると、文字一覧表が切り替わります。

●メモ 入力できる漢字はJIS第1水準規格の漢字に対応しています。

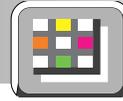


OK

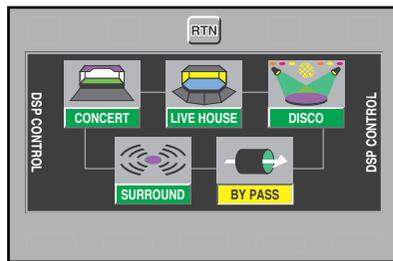
タッチすると入力したところまでの文字をメモリーし、ネーム入力画面を終了します。

●メモ

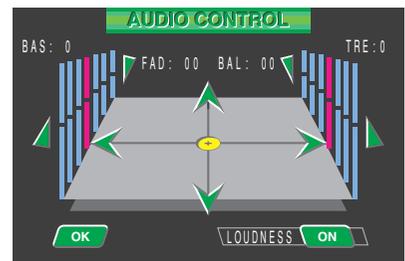
- ネーム入力画面は15秒間操作しないと自動的に解除されます。
- 入力できる文字は12文字までです。
- チューナーモードのネーム入力登録局数は30局までです。31局目を入力すると1局目に入力したネームは消去されます。
- TVモードのネーム入力登録局数は20局までです。21局目を入力すると1局目に入力したネームは消去されます。
- CD/ディスクチェンジャー/MDチェンジャーのネーム入力枚数は合計100枚までです。101枚目を入力すると1枚目に入力したネームは消去されます。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- リモコンの操作をしたり、途中でディスクチェンジされたときは、入力したところまでの文字をメモリーし、ネーム入力シートを終了します。



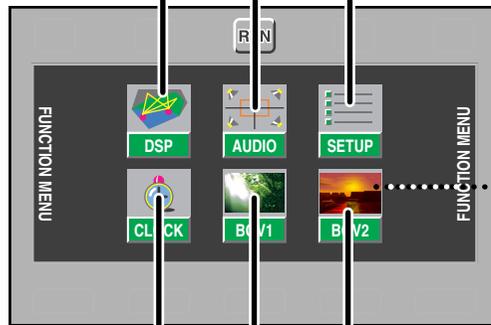
52 DSPコントロール画面



53 オーディオコントロール画面



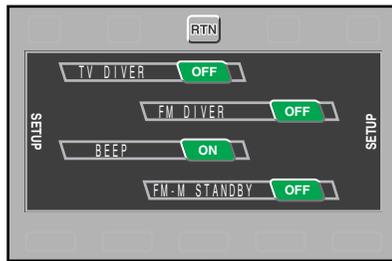
ファンクション
メニュー



55 クロック調整画面



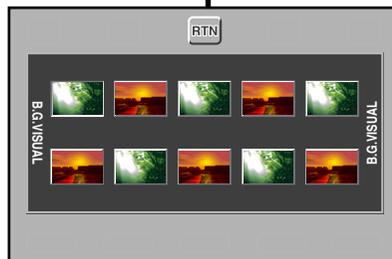
54 セットアップ画面



..... **メモ** 別売のICカード“KCA-VC200”を追加しているときに表示されます。



55 バックグラウンドビジュアル1画面

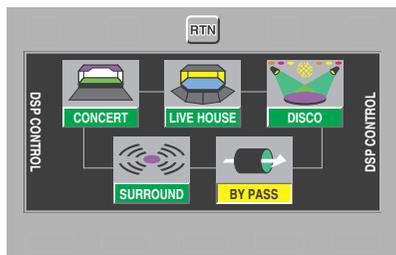


55 バックグラウンドビジュアル2画面

DSPコントロール画面



DSP



メモ 10秒間操作を行わないとDSPコントロール画面を終了します。

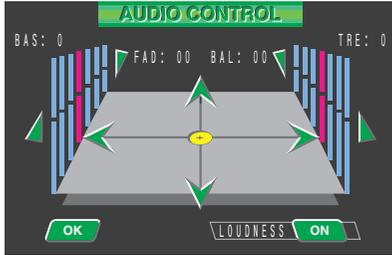
<p>コンサートホール</p>  <p>CONCERT</p>	<p>大会場でのライブの臨場感を再現して車内を大きな空間に変えます。</p>
<p>ライブハウス</p>  <p>LIVE HOUSE</p>	<p>中規模のライブハウスのステージを体感できます。</p>
<p>ディスコ</p>  <p>DISCO</p>	<p>熱気あふれるディスコのビートサウンドをメリハリよく再現します。</p>
<p>サラウンド</p>  <p>SURROUND</p>	<p>リスナーを音を取り巻くサラウンド効果を体感できます。</p>
<p>バイパス</p>  <p>BY PASS</p>	<p>効果を加えずそのまま出力します。</p>



設定を終了し、元の画面に切り替わります。

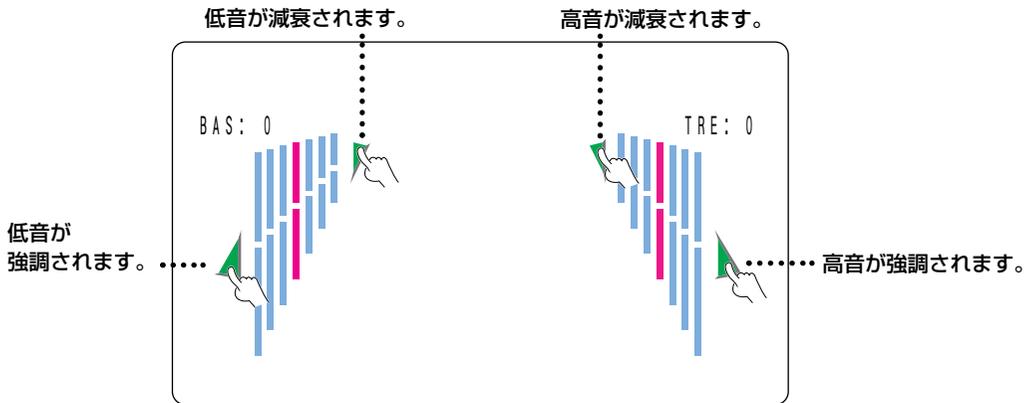
RTN

オーディオコントロール画面

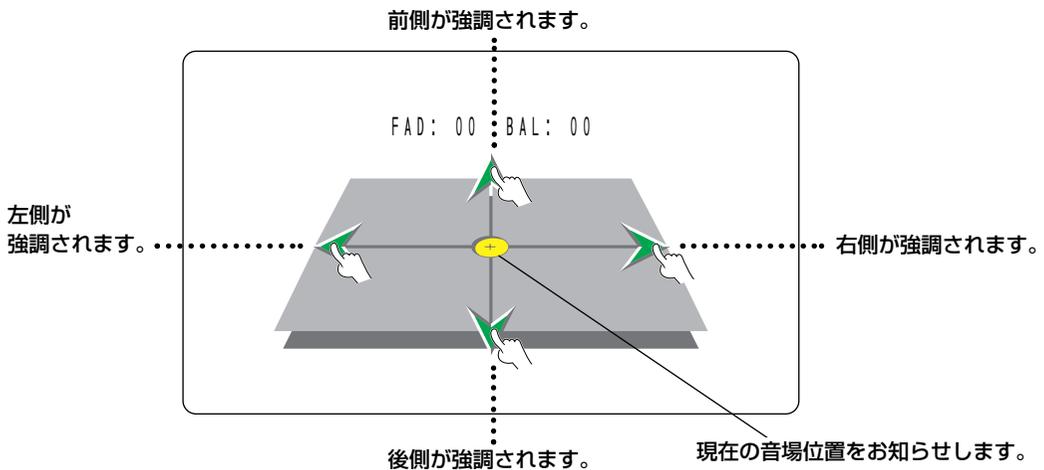


メモ 10秒間操作を行わないとオーディオコントロール画面を終了します。

●バス（低音）／トレブル（高音）調整



●バランス（左右のバランス）／フェダー（前後のバランス）調整



●ラウドネス —高音・低音を強調したメリハリのあるサウンドにする—



または



タッチすることによりラウドネスがON/OFFします。

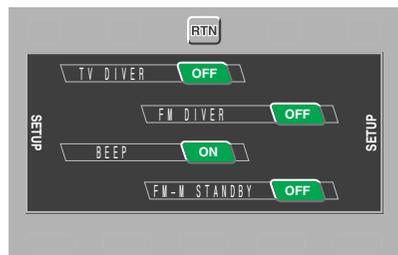


設定を終了し、元の画面に切り替わります。



セットアップ画面

SETUP



テレビダイバシティ切り替え

TV DIVER ON

または

TV DIVER OFF



-TVダイバシティアンテナ対応に切り替える-

タッチすることによりテレビダイバシティ機能がON/OFFします。テレビダイバシティアンテナを接続しているときはONに切り替えてください。

FMダイバシティ切り替え

FM DIVER ON

または

FM DIVER OFF



-FMダイバシティアンテナ対応に切り替える-

タッチすることによりFMダイバシティ機能がON/OFFします。FMダイバシティアンテナを接続しているときはONに切り替えてください。



- 初期設定はOFFになっています。FMダイバシティ対応車の場合はこの機能をONに切り替えてください。
- FMダイバシティ未対応車でも市販のFM/AMアンテナとダイバシティ変換プラグを追加すれば、FMダイバシティの効果を得ることができます。くわしくはカタログをご覧ください。

操作音ON/OFF

BEEP ON

または

BEEP OFF



-操作時のピープ音を切り替える-

タッチすることによりピープ音がON/OFFします。

FMマルチスタンバイ

FM-M STANDBY ON

または

FM-M STANDBY OFF



-常に多重放送を受信する-

(別売のICカード追加時のみON/OFFの表示になります。)
タッチすることによりFMマルチスタンバイをON/OFFします。ON中はチューナーモード時以外でもFM多重放送の受信を行い、FM多重の最新データを蓄積します。これによりFM多重画面へ切り替えたときにすぐに情報を見ることができます。



- この機能をONにするとオートアンテナ仕様車はアンテナが伸びた状態になります。
- インフォメーションメニュー (56ページ) に切り替えたときFMマルチメニュー画面から表示されます。
- 別売のICカードを追加していないときは FM-M STANDBY ---- と表示されています。



この機能をOFFにしてもFMマルチメニュー画面 (61ページ) で情報選択すると自動的に設定がONになり、オートアンテナ仕様車はアンテナが伸びた状態になります。アンテナを戻したいときは再度このセットアップ画面でOFFに設定してください。



RTN

設定を終了し、元の画面に切り替わります。

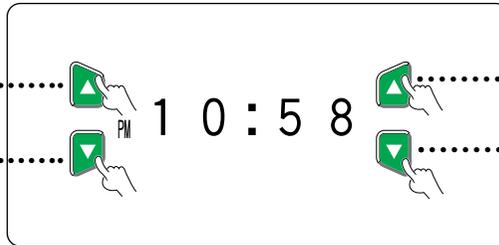
クロック調整画面



時計調整 —時刻を合わせる—

タッチすると
“時”が進みます。

タッチすると
“時”が戻ります。



タッチすると
“分”が進みます。

タッチすると
“分”が戻ります。



時報に合わせてタッチすると“分”を“00”に合わせることができます。

例

PM1:00~1:29→PM1:00からスタートします。

PM1:30~1:59→PM2:00からスタートします。

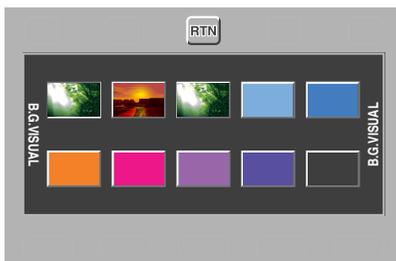
Reset



設定を終了し、元の画面に切り替わります。

RTN

バックグラウンドビジュアル1/2画面



BGV画面切り替え —背景画面を替える—

切り替えたい画面を直接タッチすると、背景画を切り替えることができます。



設定を終了し、元の画面に切り替わります。

RTN

メモ

●別売のICカード“KCA-VC200”を追加しているときは、ファンクションメニューに“BGV2”が表示され、背景画を10個の中から選択することができます。

●単色以外の画面に切り替えると一旦選択画面が消え、選択された背景画が下方向から上書きされていきます。

●バックグラウンドビジュアル描き替えが終了するまで他の操作はお待ちください。



メモ 別売のICカード“KCA-VC200”を追加しているときに表示されます。

57 インフォメーション メニュー

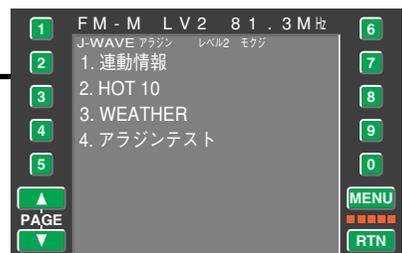
61 FMマルチメニュー画面



63 VICSレベル2画面



63 VICSレベル1画面



62 一般情報レベル1画面

メモ 各レベル画面はメニュー選択画面です。

62 一般情報レベル2画面

トラフィックインフォメーション画面

**交通情報** —交通情報を受信する—

交通情報を受信します。

タッチするごとに周波数が以下のように切り替わります。



- メモ**
- 交通情報受信中は自動的にモノラル音声に切り替わります。またDSPコントロールはバイパスになります。
 - 交通情報局は上記以外の周波数には切り替わりません。



交通情報を終了し、元の画面に切り替わります。



FM-M は別売のICカード“KCA-VC200”を追加しているときに表示されます。

また、一度FMマルチメニュー画面を表示させると、次回からトラフィックインフォメーション画面の代わりにFMマルチメニュー画面を表示します。

別売のFM多重/VICS ICカード“KCA-VC200”をシステムに追加するとFM文字多重放送とVICSを受信することができます。

FM文字多重放送とは・・・

FM文字多重放送は全国FM放送協議会（JFN）加盟局が放送しています。レベル1では音声放送の周波数帯域に文字情報のデータを追加し、通常の音声放送を聴きながら、同時に文字放送を楽しむことができます。文字放送は放送に合わせた内容の番組や、放送内容とは別の情報（ニュース、交通情報、天気予報など）を提供する番組があります。

また、レベル2では文字情報に加えてグラフィック表示を取り入れた放送内容となっています。

緊急情報について

多重放送受信中、緊急情報番組が放送されると自動的に受信を開始します。

VICSとは？

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、財団法人道路交通情報通信システムセンターが円滑かつ安全な道路交通などのために、交通情報をリアルタイムで走行中の車両に提供するためのシステムです。

提供される情報の内容

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、旅行時間情報、駐車場情報、その他（緊急放送）の情報が提供されます。これにより、運転者はすいている道路を選んだりすることができます。

緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報。VICSの情報受信中は他の情報より優先して表示提供されます。

DPV900で利用できる情報レベル

VICS情報は次の2つのレベルが利用できます。

- レベル1（文字表示）：情報が文字で表示されます。
- レベル2（簡易図形表示）：模式された道路地図上で表示されます。

情報メディア

■FM多重放送

NHK FM放送局からFM電波でVICSサービスエリア都県の高速・主要一般道の交通情報を提供します。

●放送局

東京（82.5 MHz）、横浜（81.9 MHz）、千葉（80.7 MHz）、浦和（85.1 MHz）

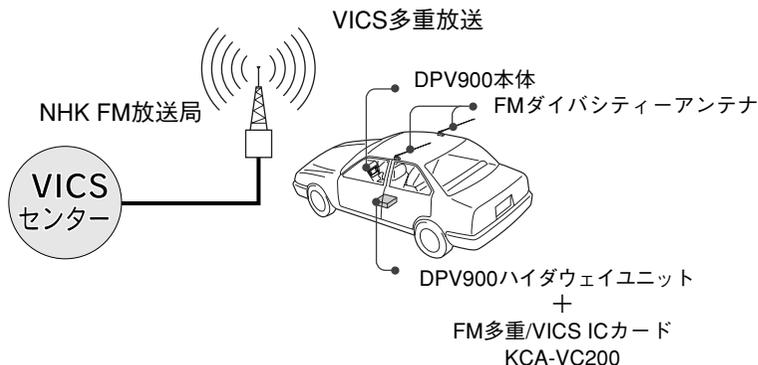
●情報内容

レベル1：渋滞・規制・事故等の情報（高速道）、区間旅行時間情報

レベル2：渋滞・規制・事故等の情報、区間旅行時間情報、PA情報

情報メディアに対応するには

VICS情報を利用するには、FM多重/VICS ICカード“KCA-VC200”をDPV900のハイダウエイユニットに追加する必要があります。



VICS情報ご利用上の注意

- 提供される情報はあくまで参考情報です。実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報は最新でない場合があります。実際の交通規制に従ってください。
- 安全のため走行中は操作できない機能があります。
- FM多重放送ご利用時のご注意
 - 受信困難な場合：サービスエリア外やトンネル内、外来雑音、マルチパス等により電波環境が良くないとき。
 - 情報蓄積時間：情報は一定周期で更新しています。更新中は情報を蓄積するまで、時間がかかります。(情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります。)
 - 夜間休止：放送サービス時間外はご利用になれません。

レベル2の渋滞情報識別および規制/情報マーク

- 渋滞情報は次のような色により識別します。
 - 渋滞：赤色 混雑：橙色 渋滞無し：白色 不明：灰色
 - ※不明とは、VICSセンターで不明と確認された情報で、確認が得られない区間は渋滞無しと識別されます。また、DPV900の受信状態で情報が正しく得られない場合も同様です。
- 臨時交通規制や事故情報、駐車場情報は次のような表示がされます。

速度制限10Km/h	速度制限20Km/h	速度制限30Km/h	速度制限40Km/h	速度制限50Km/h	速度制限60Km/h
速度制限70Km/h	速度制限80Km/h	徐行	通行止め/閉鎖	進入禁止	大型通行止め
車線規制	片側交互通行	対面通行	入り口閉鎖	入り口制限	チェーン規制
凍結	事故	故障車	路上障害	工事	作業
駐車場満車	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場不明	駐車場閉	
背景赤色	背景橙色	背景青色	背景黒色		

メモ 渋滞の識別色は放送局により変わることがあります。また、VICSセンターによりこれらの情報は変更される場合があります。

FM多重放送VICSサービスの運営時間

情報提供開始後	:	月曜～土曜日	朝6:00～翌朝1:00
		日曜日	朝6:00～夜9:00
平成8年10月1日～	:	毎日	朝6:00～翌朝1:00

VICSサービスのお問い合わせ先

VICSサービスに関する問い合わせ先は、内容により次のようにさせていただきますのでご了承ください。

- VICSの概念やサービスエリア、今後の計画に関する問い合わせ
- 文字情報（レベル1）/簡易図形表示（レベル2）の情報表示に関する問い合わせ

（財）VICSセンター（東京センター）

電話受付 9:30～17:45（土曜、日曜、祝祭日は除く）

番号 03-3592-2033

FAX受付 24時間

番号 03-3592-5494

- 当社VICS関連商品の機能や使用方法の問い合わせ

- サービスエリア内の受信可否の問い合わせ

（株）ケンウッド・お客様相談室

（東京）電話受付 9:30～17:30（土曜、日曜、祝祭日および当社休日は除く）

番号 03-3477-5335

（大阪）電話受付 9:45～17:45（土曜、日曜、祝祭日および当社休日は除く）

番号 06-357-5335

FM-M FMマルチメニュー画面 (別売のICカード“KCA-VC200”装着時)



メモ

- 移動中の車は特に建物や山などの障害物に影響され、電波の強弱が生じ、受信状態が悪くなることがあります。
- データ蓄積中はFM文字多重データ量や受信状態により表示されるまでの時間が異なります。
- 受信状態、受信時間帯によっては音声は受信されていても文字情報が表示されない場合があります。
- AM受信中にONにするとFMマルチ受信局に変わります。
- TI** にタッチするとトラフィックインフォメーション画面に切り替わります。

注意

FMマルチメニュー画面で情報選択するとセットアップ画面 (54ページ) のFMマルチスタンバイが自動的にONになりオートアンテナ仕様車はアンテナが伸びた状態になります。アンテナを戻したいときは再度セットアップ画面でOFFに設定してください。



オート/マニュアルシーク切り替え

AUTO **MANU** チューニング方法をオートシークとマニュアルシークに切り替えます。

オートシーク選択時

周波数の低い方、高い方へ自動的に放送局を探して受信します。

マニュアルシーク選択時

周波数が低い方、高い方へ1ステップずつチューニングします。



メモリー呼び出し

タッチするとメモリーコール画面に切り替わり、メモリーしている情報を呼び出します。(64ページ)

メモ

- メモリーは情報を表示しているレベル1、またはレベル2画面上で行います。
- メモリーコール画面は30秒間操作しないと自動的に解除されます。



FMバンド切り替え

タッチするごとにFM1とFM2を切り替えます。



チューナーメモリー

—放送局をメモリーする—

FM文字多重放送局を受信中に **1** ~ **6** ボタンのいずれかを2秒以上タッチすると、タッチしたボタンに今聴いているFM文字多重放送局がメモリーされます。

メモ

ここでチューナーメモリーを行うとチューナーモードでメモリーした放送局も同様に変更されます。



メモリー呼び出し

—メモリーした放送局を受信する—

1 ~ **6** ボタンのいずれかをタッチすると、チューナーメモリーでメモリーされた放送局を受信します。



情報表示選択

—文字情報を受信する—

一般情報レベル1画面に切り替わります。(62ページ)

一般情報レベル2画面に切り替わります。(62ページ)

VICSレベル1画面に切り替わります。(63ページ)

VICSレベル2画面に切り替わります。(63ページ)

メモ

FM文字多重放送は情報の蓄積が始まるまで時間がかかります。選択を受けつけないときはしばらく待ってから選択してください。



メニュー画面を終了し、元の画面に切り替わります。





一般情報レベル1画面 (別売のICカード“KCA-VC200”装着時)



メニュータイトルNo.を選んでいくと

受信感度
インジケータ―



最終階層画面



FM多重情報レベル1受信

—文字情報を見る—



①～⑥ 見たい情報のメニュータイトルNo.を押すと情報が表示されます。

▲ PAGE 文字情報ページを戻します。

▼ PAGE 文字情報ページを送ります。



- メニューの内容はFM文字多重放送局によって異なります。
- 番組によっては更に詳しいメニューが表示されることがあります。
- 受信感度インジケータ―で現在の電波状況をお知らせします。点灯数が少ない程、情報・蓄積に時間がかかります。
- 選択した文字情報に複数のページがある場合は、ページの途中から表示されたり、前後のページが蓄積されていないことがあります。しばらくしてからページを送り/戻してください。

現在表示されているページを3つまでメモリー
します。

KEEP MEMO CALL …… メモリーを1から順に表示します。(64ページ)



- メモリーできるページはFMマルチレベル1/2、VICS1/2の合わせて3つまでです。
- 4つ目をメモリーすると古い順からメモリーが消去されます。
- メモリーコール画面は30秒間操作しないと自動的に解除されます。

MENU 一つ前のメニューに戻ります。

RTN FMマルチメニュー画面に戻ります。



一般情報レベル2画面 (別売のICカード“KCA-VC200”装着時)



メニュータイトルNo.を選んでいくと

受信感度
インジケータ―



最終階層画面



FM多重情報レベル2受信

—文字情報を見る—



①～⑨ 見たい情報のメニュータイトルNo.を押すと情報が表示されます。

▲ PAGE 文字情報ページを戻します。

▼ PAGE 文字情報ページを送ります。



- メニューの内容はFM文字多重放送局によって異なります。
- 番組によっては更に詳しいメニューが表示されることがあります。
- 受信感度インジケータ―で現在の電波状況をお知らせします。点灯数が少ない程、情報・蓄積に時間がかかります。
- 選択した文字情報に複数のページがある場合は、ページの途中から表示されたり、前後のページが蓄積されていないことがあります。しばらくしてからページを送り/戻してください。

現在表示されているページを3つまでメモリー
します。

KEEP MEMO CALL …… メモリーを1から順に表示します。(64ページ)



- メモリーできるページはFMマルチレベル1/2、VICS1/2の合わせて3つまでです。
- 4つ目をメモリーすると古い順からメモリーが消去されます。
- メモリーコール画面は30秒間操作しないと自動的に解除されます。

MENU 一つ前のメニューに戻ります。

RTN FMマルチメニュー画面に戻ります。



VICSレベル1画面 (別売のICカード“KCA-VC200”装着時)



メニュータイトルNo.を選んでいくと
受信感度インジケータ―



最終階層画面



VICSレベル1受信

-VICS情報レベル1を見る-

- ①~⑥ 見たい情報のメニュータイトルNo.を押すと情報が表示されます。
- ▲ PAGE 文字情報ページを戻します。
- ▼ PAGE 文字情報ページを送ります。



- VICS情報提供局は58ページを参照してください。
- 受信感度インジケータ―で現在の電波状況をお知らせします。点灯数が少ない程、情報・蓄積に時間がかかります。
- 選択した文字情報に複数のページがある場合は、ページの途中から表示されたり、前後のページが蓄積されてないことがあります。しばらくしてからページを送り/戻してください。

現在表示されているページを3つまでメモリー

- KEEP MEMO CALL ... します。
- KEEP MEMO CALL ... メモリーを1から順に表示します。(64ページ)



- メモリーできるページはFMマルチレベル1/2、VICSレベル1/2の合わせて3つまでです。
- 4つ目をメモリーすると古い順からメモリーが消去されます。

MENU 一つ前のメニューに戻ります。

RTN FMマルチメニュー画面に戻ります。



VICSレベル2画面 (別売のICカード“KCA-VC200”装着時)



メニュータイトルNo.を選んでいくと
受信感度インジケータ―



最終階層画面



VICSレベル2受信

-VICS情報レベル2を見る-

- ①~⑤ 見たい情報のメニュータイトルNo.を押すと情報が表示されます。
- ▲ PAGE 文字情報ページを戻します。
- ▼ PAGE 文字情報ページを送ります。



- VICS情報提供局は58ページを参照してください。
- 受信感度インジケータ―で現在の電波状況をお知らせします。点灯数が少ない程、情報・蓄積に時間がかかります。
- 選択した文字情報に複数のページがある場合は、ページの途中から表示されたり、前後のページが蓄積されてないことがあります。しばらくしてからページを送り/戻してください。

現在表示されているページを3つまでメモリー

- KEEP MEMO CALL ... します。
- KEEP MEMO CALL ... メモリーを1から順に表示します。(64ページ)



- メモリーできるページはFMマルチレベル1/2、VICSレベル1/2の合わせて3つまでです。
- 4つ目をメモリーすると古い順からメモリーが消去されます。

MENU 一つ前のメニューに戻ります。

RTN FMマルチメニュー画面に戻ります。

メモリーコール画面



〈レベル1画面〉



〈レベル2画面〉



メモリー呼び出し



メモリーしたページを戻します。



メモリーしたページを送ります。



FMマルチメニュー画面に戻ります。

RTN



メモリーコール画面は30秒間操作を行わないと自動的に解除されます。

FMマルチメッセージ一覧

表示メッセージ

FM多重局判定中です。

データを集めています。

VICs情報を受信できません。

VICs情報が提供されていません。

レベル2の情報を受信できません。

番組のデータを集めています。

データを解析しています。

メモリーしました。

受信できません。

メッセージの説明内容

FM多重局かどうか判定しています。

メインメニューの情報を集めています。

FM多重局ですが、VICsのサービス提供を行っていない局です。

VICsサービス提供局ですが、現在テスト番組のみです。

FM多重局ですが、レベル2のサービス提供を行っていない局です。

見たい番組データや地図データを集めています。

スクランブル化されているデータを解読中です。

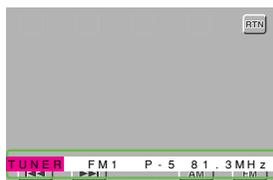
ページをメモリーしたときに表示されます。

FM多重局でないか、または受信状態が悪くデータが得られない状態です。

画面消去



- メモ**
- 左画面はチューナーモード時の画面消去の場合です。モードにより表示されている内容が異なります。
 - リモコンや表示されているタッチキーを操作すると画面下にオーディオソース状況を5秒間表示します。



元の画面に戻ります。

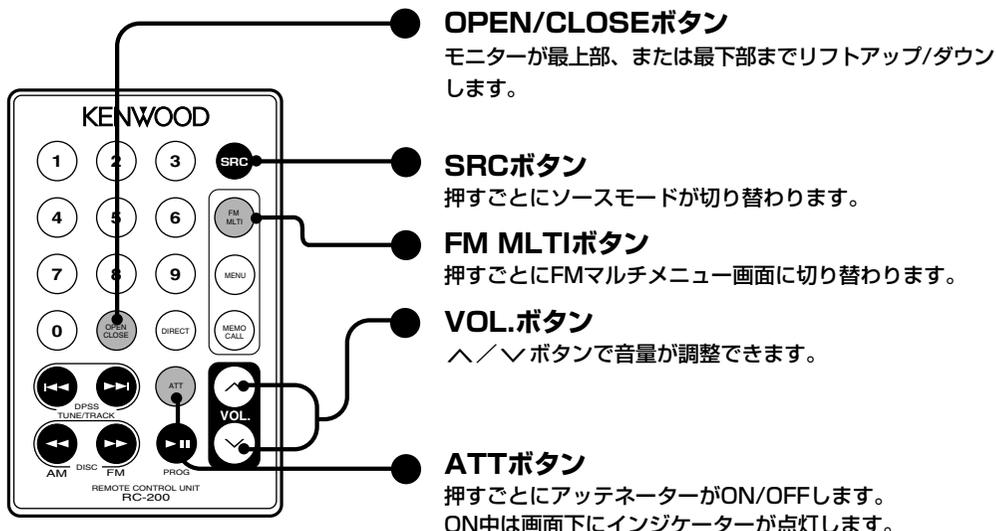


REMOTE CONTROL

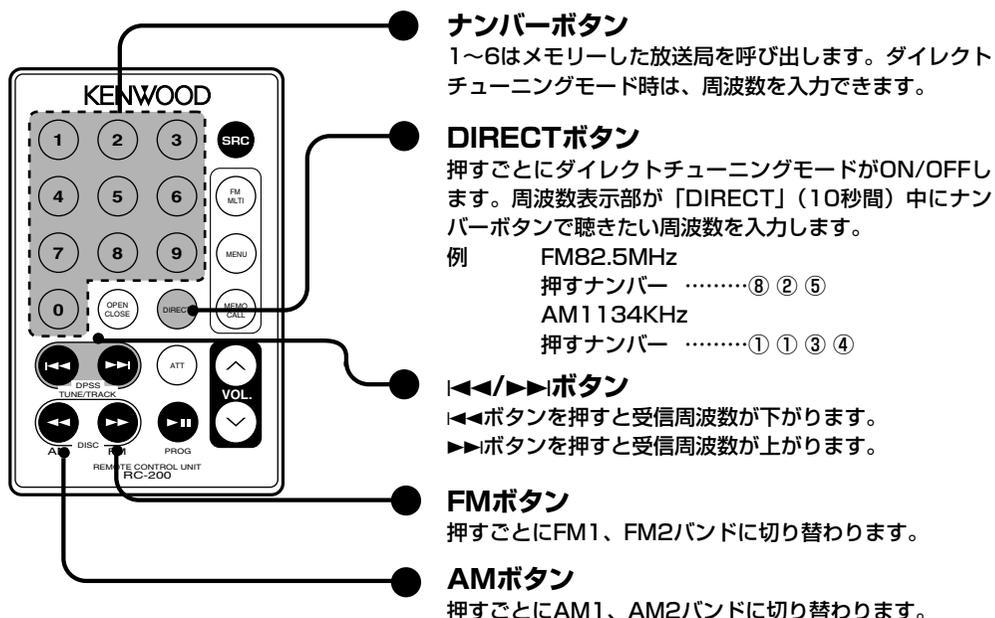


FM文字多重情報画面のとき、リモコン操作は“FM MULTI MODE”が優先されます。

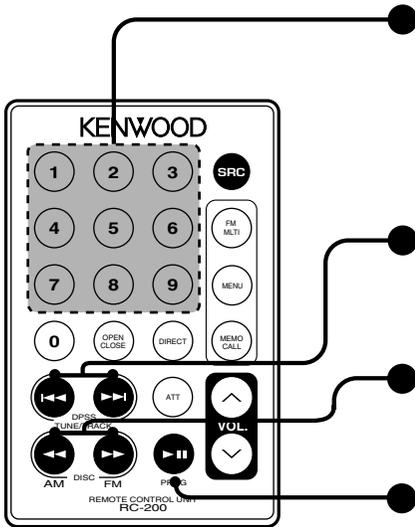
ALL MODE



TUNER MODE



TAPE MODE



ナンバーボタン

飛び越したい曲数を入力します。No.表示が点滅（10秒間）中に

◀◀ボタンを押すと入力した曲数分を巻戻し、テーププレイが始まります。

▶▶ボタンを押すと入力した曲数分を早送りし、テーププレイが始まります。

◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンは現在の曲の先頭や手前の曲へDPSSします。

▶▶ボタンは先の曲へDPSSします。

◀◀/▶▶ボタン

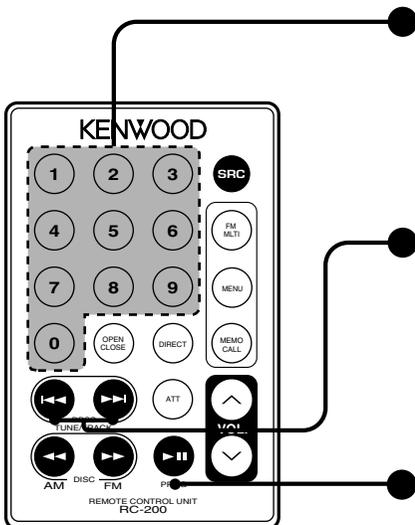
◀◀ボタンを押すと巻戻しが始まります。

▶▶ボタンを押すと早送りが始まります。

▶||ボタン

押すとリバースプレイになります。巻戻し、早送り、DPSS中に押すとテーププレイに戻ります。

CD MODE



ナンバーボタン

ダイレクトで演奏したいトラックNo.の入力ができます。

No.表示部が「DIRECT」（10秒間）中に◀◀/▶▶ボタンを押すとダイレクトトラックサーチします。

◀◀/▶▶ボタン

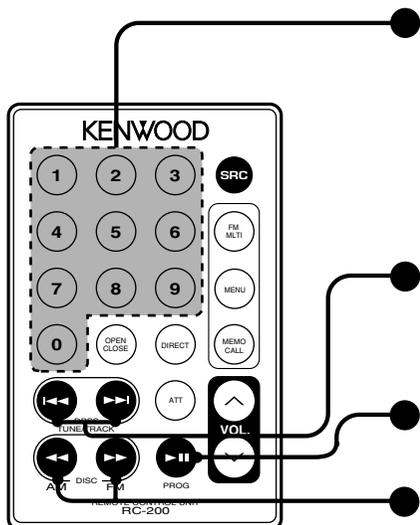
◀◀ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。

▶▶ボタンは先の曲へトラックサーチします。

▶||ボタン

ディスク演奏のプレイ/ポーズができます。

DISC-CHANGER MODE

**ナンバーボタン**

ダイレクトで演奏したいトラックまたはディスクNo.の入力ができます。

No.表示部が「DIRECT」(10秒間)中に

◀◀/▶▶ボタンを押すとダイレクトトラックサーチします。

◀◀/▶▶ボタンを押すとダイレクトディスクサーチします。

◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。

▶▶ボタンは先の曲へトラックサーチします。

▶/||ボタン

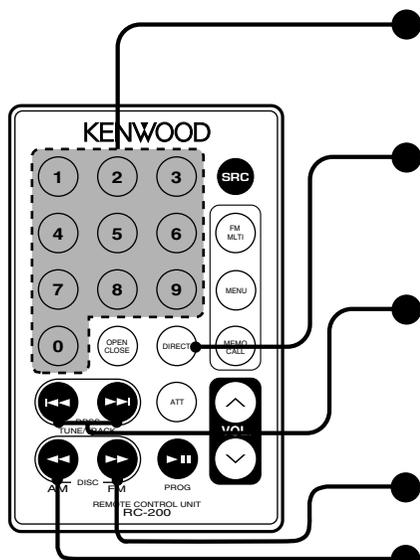
ディスク演奏のプレイ/ポーズができます。

◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンは手前のディスクを演奏します。

▶▶ボタンは次のディスクを演奏します。

TV MODE

**ナンバーボタン**

1~6はメモリーしたTV局を呼び出します。

ダイレクトチューニング時は、TV局のチャンネルが入力できます。

DIRECT ボタン

押すごとにダイレクトチューニングモードのON/OFFができます。チャンネル表示部が「DIRECT」(10秒間)中にナンバーボタンで見たいTV局のチャンネルを入力します。

◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンを押すとチャンネルが下がります。

▶▶ボタンを押すとチャンネルが上がります。

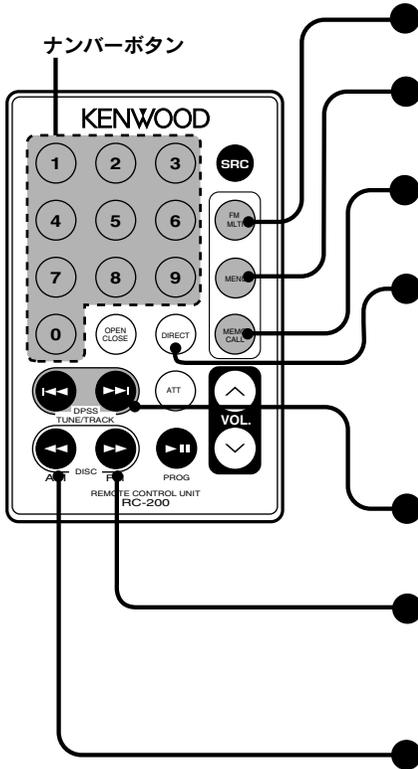
FMボタン

押すごとにTV1、TV2、ビデオの順に切り替わります。

AMボタン

押すごとにテレビの音声をメインとサブに切り替わります。

FM MULTI MODE (FM文字多重情報) (別売のICカード“KCA-VC200”装着時)



FM MLTIボタン

押すごとにFM文字多重モードがON/OFFします。

MENUボタン

押すと文字情報のメニューを表示します。ナンバーボタンでメニューを選択します。

MEMO CALLボタン

押すごとに3つまでメモリーした文字情報を順に表示します。

DIRECTボタン

押すごとにダイレクトチューニングモードがON/OFFします。周波数表示部が「DIRECT」(10秒間)中にナンバーボタンで聴きたい周波数を入力します。

例 FM82.5MHz
押すナンバー ……⑧ ② ⑤

◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンを押すと受信周波数が下がります。

▶▶ボタンを押すと受信周波数が上がります。

▶▶ボタン

押すごとに文字情報をページ戻しします。

メモ FMマルチメニュー画面のときは押すごとにFM1、FM2バンドを切り替えます。

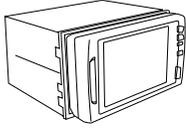
◀◀ボタン

押すごとに文字情報をページ送りします。

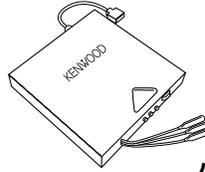
取り付けかた

構成部品

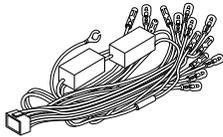
DPV900は次の部品で構成されています。
取り付け前に、必ず数量を確認してください。



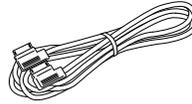
ディスプレイユニット.....1



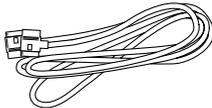
ハイダウェイユニット.....1



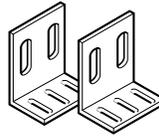
電源ハーネス1



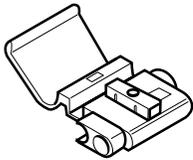
中継ケーブル (3m)1



K-BUS延長ケーブル (3m)1



ハイダウェイユニット取付
金具2



パーキングブレーキ検出用
コネクター1



クリーニングクロス1



リモートコントロールユニット1

-  トラスネジ (M5×6mm)6
-  皿ネジ (M5×6mm)6
-  セムスネジ (M4×8mm)4
-  バインドネジ (M4×6mm)1
-  タッピンネジ (φ4×16mm)4



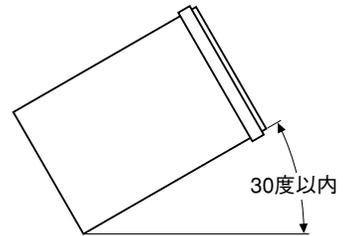
必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属部品をご使用にならないと製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取付不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

取り付け時の注意

- 本製品はDC12V、マイナスアース専用です。これ以外の電源には接続しないでください。
- ショート事故防止のため、取り付け作業時にはバッテリーのマイナス端子からコードをはずしておいてください。
- 本製品の取り付けには、付属の金具やネジ類を使用してください。
- モニター部分だけを持って取り付けると落下などによる破損の原因となります。必ず両手でユニット底面を持って取り付けてください。
- 本製品はしっかり固定してください。固定できない場所には取り付けないでください。
- 直射日光の当たる場所やエアコンの送風が当たる場所、水のかかる場所、高温になる場所には取り付けないように注意してください。
- 本書に従って、正しく取り付け・配線してください。間違った配線や改造は、誤動作や故障の原因になるばかりではなく、事故の原因にもなります。

取り付け角度

取り付け角度が30度以下になる場所へ取り付けてください。それ以上の角度では正常にリフトアップ/ダウン動作ができない場合があります。



ディスプレイユニット部の取り付けかた

バインドネジ (M4×6mm)

メモ

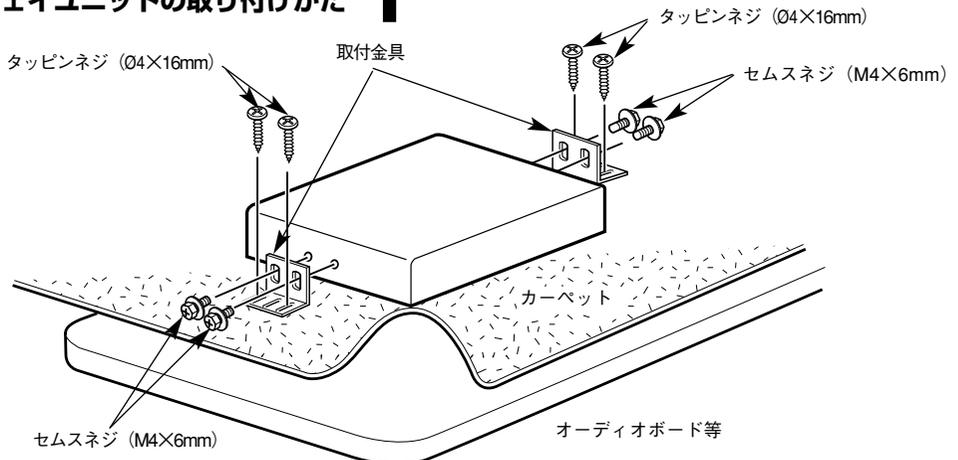
別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

トラスネジ (M5×6mm)
または
皿ネジ (M5×6mm)

トラスネジ (M5×6mm)
または
皿ネジ (M5×6mm)

車両付属取付金具または取付キット付属金具など

ハイダウエイユニットの取り付けかた



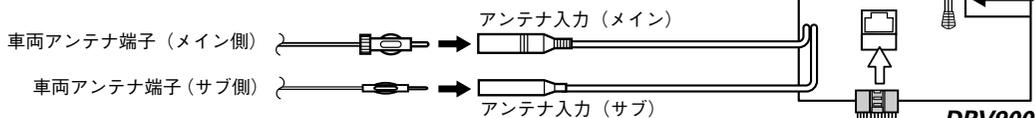
接続のしかた

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

ナビゲーションシステムを接続するときはナビゲーションシステムに付属の取扱説明書をご覧ください。

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをDPV900に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。

- ※**
- ヒューズが切れたときは、電源関係のコードがショートしていないことを確認し、同じ容量のヒューズと交換してください。
 - コネクターやギボシ端子を接続するときは、互いに完全にロックするまで差し込んでください。



注意 車両アンテナ端子のメイン/サブを両方接続したときは、ファンクションメニューのセットアップ画面（54ページ）を参照してFMダイバシティをONに切り替えてください。

本機にディマーをかけるための電源入力です。ライトスイッチでON/OFFできる電源へ接続してください。



車のパーキング検出スイッチに接続します。

注意 パーキング検出コードは途中で切断しないでください。切断すると正しく動作しないなど故障の原因となります。

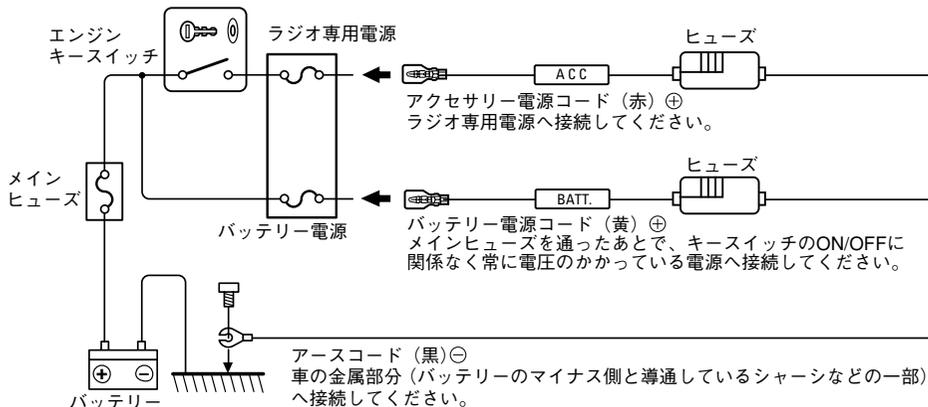
ラインミュート端子対応のナビゲーション機器との接続に使用します。



別売のパワーアンプを接続する場合、パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



モーターアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



パーキングブレーキ検出用コネクターの使いかた

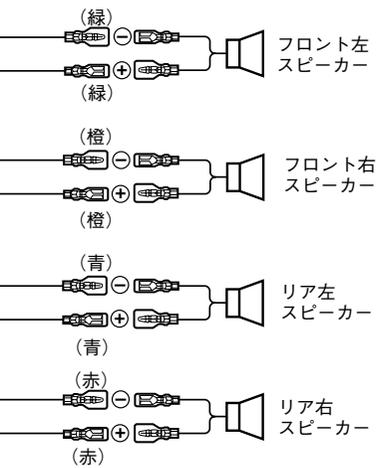
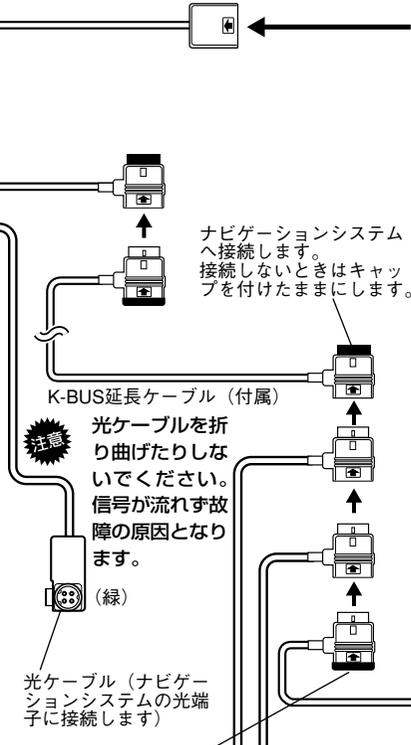
パーキングブレーキ検出用コネクター (付属)

車両のパーキング検出スイッチケーブル

③はリードベンチなどで圧着してください。



別売のパワーアンプを接続することができます。



アンテナ入力コード (片側グレーライン)

TVダイバシティアンテナ (別売)

アンテナ入力コード

映像出力 (黄)

音声 (左) 出力 (白)

音声 (右) 出力 (赤)

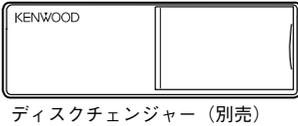
メモ ビデオなどの外部機器を接続できます。

ハイダウエイユニット (付属)

中継ケーブル (付属)

ディスクチェンジャー接続ケーブル (ディスクチェンジャーに付属)

ディスクチェンジャー接続ケーブル (ディスクチェンジャーに付属)



CH1 ↔ CH2

右側のチェンジャーNo.スイッチを“1”に切り替えてください。

CH1 ↔ CH2

底面のチェンジャーNo.スイッチを“2”に切り替えてください。

MDチェンジャー (別売)

注意

●TVダイバシティアンテナを接続したときはファンクションメニューのセットアップ画面 (54ページ) を参照してTVダイバシティをONに切り替えてください。

●TVダイバシティアンテナでないアンテナを接続したときはグレーライン側のアンテナ入力コードに接続してください。

メモ

別売のICカードを差し込むことができます。詳しくはICカードに付属の説明書をご覧ください。

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	なぜ	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズが切れている。 ●入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンのアッテネーターがONになっている。 ●音量が最小になっている。 ●フェーダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 ●スピーカーコードが間違っ て接続されている。 ●ラインミュートコード(茶)が間違っ て配線されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アッテネーターを解除してください。 ●音量を適度に上げてください。 ●フェーダー、バランスを調整してください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。
操作キーを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。⇒P.8
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のアンテナが伸びていない。 ●FMダイバシティアンテナの設定が間違っ ている。 ●アンテナコントロール電源が接続されてい ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを十分伸ばしてください。 ●FMダイバシティアンテナを接続しているときは、セットアップ画面(⇒P.54)を参照してFMダイバシティをONに切り替えてください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見てアンテナコントロール電源を接続してください。
アンテナが伸びたままになる	FMマルチスタンバイがONになっている。	FMマルチスタンバイ(⇒P.54)をOFFにしてください。
文字情報が表示されない	FM文字多重放送局でない。	FM文字多重放送局を受信してください。
VICS情報が表示されない	VICSサービスエリアでない。	“VICSとは?”(⇒P.58)を参照して放送局を確認してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●すでにテープが入っている。 ●カセットハーフが変形している。 ●テープが逆向きになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●すでに入っているテープを取り出してから入れてください。 ●他のカセットテープを使用してください。 ●テープが見える面を右にして入れてください。
ディスクが入らない	すでにディスクが入っている。	すでに入っているディスクを取り出してから入れてください。
ディスクを入れてもすぐ出てきてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しになっている。 ●ディスクが異常に汚れている。 ●結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして入れ直してください。 ●“ディスクのお手入れ(⇒P.10)”を見てクリーニングしてみてください。 ●しばらく、放置してから使用してください。⇒P.9
振動により音飛びが飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●取り付け角度が、30°を越えている。 ●取り付けが不安定になっている。 ●ディスクに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●30°以内の角度に調整してください。 ●しっかりと固定してください。 ●停車しても同じ部分で音飛びが飛ぶときは、ディスクの問題です。“ディスクのお手入れ(⇒P.10)”を見てクリーニングしてみてください。
音質が悪い (再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスク自身の音質。 ●ディスクに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他のディスクを再生して問題がなければCD自身の音質です。 ●“ディスクのお手入れ(⇒P.10)”を見てクリーニングしてみてください。
選曲動作をしても目的の曲にならない。	ランダム/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダム/マガジンランダムプレイモードを解除してください。

こんなとき	なぜ	こうします
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が大きすぎる。 ●ヘッドが汚れている。 ●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 ●スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●適正音量で使用してください。 ●“ヘッドクリーニングについて(⇒P.9)”を見てヘッドクリーニングを行ってください。 ●スピーカー配線をチェックしてください。 ●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
エンジンキーをOFFにすると、メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源コード(黄)が所定の場所に接続されていない。	“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。
DSP効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> ●2スピーカーシステムになっている。 ●フロント出力とリア出力が逆に接続されている。 ●スピーカーの右と左が逆に接続されている。 ●スピーカーの⊕と⊖が逆に接続されている。 ●フェダー、バランスの調整が片側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フロント、リアの4スピーカーシステムにしてください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。 ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て正しく接続してください。 ●フェダー、バランスをセンターに設定してください。
テレビ/ビデオの映像が映らない、ネーム入力ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●パーキングブレーキ検出スイッチに配線されていない。 ●パーキングブレーキを引いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て、正しく接続してください。 ●安全のため、走行中はテレビ/ビデオの映像、ネーム入力画面は映りません。
テレビの映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナが配線されていない。 ●TVダイバシティアンテナの設定が間違えている。 ●電波状態が悪い場所で受信している。 ●ナビゲーションシステムなどのコンピューター機器からのラジエーションの影響を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた(⇒P.72)”を見て、TVアンテナをハイダウエイユニットに正しく接続してください。 ●TVダイバシティアンテナを接続しているときは、セットアップ画面(⇒P.54)を参照してTVダイバシティをONに切り替えてください。 ●電波状態の良い場所に移動して受信してみてください。 ●ナビゲーションシステムなど電源をOFFにしてください。
画面が暗い	気温が低い場所に放置していた。	ディスプレイユニットの温度が下がっているときは、電源をONにしたときに液晶パネルの性質上、通常より画面が暗い場合があります。電源をONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。



モニターコントロールできない状態のときは以下のメッセージでお知らせします。

「ANGLE CHECK」.....手動で角度調整されているためにモニターを最下部まで降ろすことができません。
→モニターを手で動かし、センター位置で一旦ロックされるとモニターを最下部まで降ろすことができます。

「FLIP DOWN CHECK」.....モニターがフリップダウン状態、または完全に閉まっていないときはリフトアップさせることができません。
→手で確実にモニターを閉めてください。完全に閉まっていないときはフリップダウンを含め、すべての操作ができません。

「TAPE/DISC CHECK」.....テープまたはディスクが挿入口にあるためリフトダウンさせることができません。
→再度挿入し直すか、または取り出してから操作を行ってください。

●以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

- EJECT.....ディスクオートチェンジャーにディスクマガジンがセットされていない。
ディスクオートチェンジャーにディスクマガジンが完全に入っていない。
CDプレーヤー部がディスクのイジェクト動作をしている、またはディスクが挿入口にある。
カセットデッキ部がテープのイジェクト動作をしている、またはテープが挿入口にある。
- NO DISC.....ディスクマガジンにディスクが一枚も入っていない。
ディスクチェンジ中、マガジン内にディスクが入っていない。
リスト画面でディスクマガジンにディスクがない部分を表示している。
CDプレーヤー部にディスクが入っていない。
- NO TAPE.....カセットデッキ部にテープが入っていない。
- ERROR04.....ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクに傷が多く付いている。
- ERROR / ERROR99.....何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"ERROR"、"ERROR 99"表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD / H-HOLD.....ディスクオートチェンジャーまたはCDプレーヤー部の内部温度が 60°C以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。
→ディスクオートチェンジャーまたは本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- BLANK DISC.....演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
→次のMDを自動的に演奏します。
- NO TRACK.....演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→次のMDを自動的に演奏します。
- CD-ROM MODE.....ナビゲーションシステムのCD-ROMディスクとして動作中している。
- ROM AREA.....CD-ROMディスクの情報領域を再生している。
- NO NAME.....ネームセットされていない。
- NO ACCESS.....一度も演奏していないディスクをリスト画面で表示している。

保証書 この商品の保証書は別途添付しております。
必ず所定事項の記入及び記入内容をご確認いただき大切に
保存してください。

保証期間 お買上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、
保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド
各営業所が**無料修理**いたします。

保証期間経過後の修理 お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談くださ
い。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望
により**有料修理**いたします。

本機の当社規定**補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後
6年間です。(性能部品とは、その製品の機能を維持するため
に必要な部品です。)

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの
販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠
慮なくご相談ください。

**ディスクオートチェンジャー
お買上げのお客様へ** 修理のためお買上げの販売店、またはケンウッド各営業所
に本機をお持ちになるときは、本機およびディスクチェン
ジャーを一緒にお持ちください。

定格

FM部

受信周波数範囲	76.0MHz~90.0MHz
周波数ステップ	100kHz
実用感度S/N:30dB	9.3dBf (0.8 μ v/75 Ω)
S/N:50dB感度	15.2dBf (1.6 μ v/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0dB)	30~15kHz
S/N比(dB)	75dB(MONO)
選択度	\geq 80dB(\pm 400kHz)
キャプチャー・レシオ	1.5dB
ステレオ・セパレーション	40dB(1kHz)

AM部

受信周波数範囲	522kHz~1629kHz
周波数ステップ	9kHz
感度	27dB μ

CD部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード $\lambda=780\text{nm}$)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200rpm (線速度一定)
ワウ&フラッター	測定限界以下
周波数特性	5~20kHz(\pm 1dB)
高調波歪率	0.01%(1kHz)
S/N比(dB)	93dB
ダイナミックレンジ	96dB
チャンネルセパレーション	85dB

カセット部

テープ・スピード	4.76cm/秒
ワウ&フラッター	0.08%(WRMS)
早送り・巻戻し時間	約100秒(C-60)
周波数特性 (\pm 3.0dB)	30~20kHz (120 μ s)
	25~22kHz (70 μ s)
ステレオ・セパレーション	45dB (1kHz)
S/N比 (dB)(IHF-A)	62dB
Dolby B NR OFF	71dB
Dolby B NR ON	

DSP/ANA部

A/C コンバーター	1bit ADM方式
D/A コンバーター	1bit ADM方式
SFC モード数	4(HALL/LIVE HOUSE/DISCO/SURROUND)+BYPASS
アナライザーバンド数、ステップ数	11Band 13Step
アナライザー中心周波数(Hz)	63/106.5/150/240/330/665/1k/2.15k/3.3k/6.65k/10k

モニター部

画面サイズ	5.0インチ 101.9mm(幅)×74.4mm(高さ)×126.2mm(対角)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	224,640画素 234V×960H
有効画素数	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源(照明方式)	冷陰極管
輝度	250cd/m ²
使用温度範囲	0~60℃
保存温度範囲	-20~80℃

TVチューナー部

受信チャンネル	(VHF)1~12ch (UHF)13~62ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザー方式
復調方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入力	4ch ダイバシティ
実用感度	20dB μ (75 Ω)
映像S/N	40dB以上(65dB μ 映像入力、白100%)
映像雑音制限感度	53dB μ
クロストーク	主→副 48dB以上 副→主 48dB以上
S/N比	50dB(IHF-Aネットワーク)
ステレオ・セパレーション	30dB以上(1kHz)
外部ビデオ入力レベル :映像	1Vp-p/75 Ω
:音声	1V22k Ω
RGB入力	アナログRGB入力 0.7Vp-p

オーディオ部

最大出力	35w×4
定格出力	20w×4(4 Ω ,1kHz,1%THD)
プリアウトレベル	450mV
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
高調波歪率	0.05%

電源部・その他

電源電圧	14.4V(11V~16V)
最大消費電流	10A
接地方法	マイナスアース方式
外形寸法/ディスプレイユニット	180mm(W)×100mm(H)×192mm(D)
(埋込寸法)	180mm(W)×100mm(H)×162mm(D)
(ノーズ寸法)	176mm(W)×96mm(H)×32mm(D)
ハイダウェイユニット	210mm(W)×210mm(H)×40mm(D)
質量/ディスプレイユニット	3.2kg
ハイダウェイユニット	1.5kg

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
 ※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9（ケンウッド青葉台第二ビル）
（大阪）電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。